

村上 明美（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 村上明美. 共著他 16 名, (2023). 新版助産師業務要覧第 4 版 (2024 年版) I 基礎編. 第 2 章助産師の教育. (pp.52-62). 東京: 日本看護協会出版会.
- 2) 村上明美. 共著他 7 名, (2023). 助産師基礎教育テキスト第 5 巻 (2024 年版) 分娩期の診断とケア. (pp.148-167). 東京: 日本看護協会出版会.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 母性衛生査読委員, 2007.4.～
- 2) 日本助産学会誌査読委員, 2008.4.～
- 3) 神奈川県母性衛生学会理事, 2009.4.～
- 4) 産科医療補償制度分析委員会部会員, 2009.4.～
- 5) 一般財団法人日本助産評価機構監事, 2022.6.～
- 6) 一般社団法人日本看護科学学会評議員, 2019.4.～
- 7) 一般社団法人日本助産学会代議員, 2022.6.～
- 8) 助産実践推進協議会委員, 2019.6.～
- 9) かながわ国際交流財団理事 2023.4.～
- 10) 公益社団法人日本母性衛生学会理事, 2023.4.～
- 11) 全国助産師教育協議会助産師教育研修研究センター長, 2023.6.～

5 社会貢献

- 1) 全国助産師教育協議会セカンドステージ研修助産師教育課程概論, 2023.7.
- 2) 全国助産師教育協議会ファーストステージ研修助産師教育方法論, 2023.6.
- 3) 全国助産師教育協議会助産政策論オンラインセミナー, 2024.2.

6 講演, 放送

- 1) 夢ナビ講義: 助産師に求められる教育を考える
- 2) 神奈川県立保健福祉大学ヒューマンサービス公開講座 健康づくり「健康寿命の延伸に向けて ～男も女も更年期クライシスへの対応が肝心～, 2023.5.

7 学会等での活動

- 1) 渡邊千登世. 村上明美. 宮芝智子. 他 4 名, (2023). 「病院と地域を横断して働く新人看護師の教育プログラム」の開発. 第 27 回日本看護管理学会学術集会. 東京.
- 2) 本館教子. 村上明美. 他 5 名, (2023). インフォメーション・イクスチェンジ 病院と地域を横断して働く新人看護師教育プログラムの開発 神奈川県内の看護師の新たな働き方モデル. 第 27 回日本看護管理学会学術集会. 東京.
- 3) A. Murakami, S. Miyagawa, C. Taniguchi, M. Izumi, E. Manabe, N. Watanabe, H. Watanabe, (2023). Survey on the Influence COVID-19 had on Clinical Training and Complementary Education in Midwifery Education in Japan. ICM 2023 Indonesia Bali.

- 4) A. Murakami, N. Watanabe, E. Asami, H. Fujii, (2023) A Study on Future Midwives' Education of Birth Assistance Skills: Interviews with Educational Institutions. ICM 2023 Indonesia Bali. .
- 5) 村上明美. 井本寛子. 黒川寿美江. 葉久真理, (2023). シンポジウム 2年間の助産師教育を考える. 第27回日本助産学会学術集会. 東京.
- 6) 村上明美. 高田昌代. 眞鍋えみ子. 渡邊浩子. 金田嘉清, (2023). 助産学共用試験の実装に向けて. 第27回日本助産学会学術集会. 東京.

8 学内教育活動

1) 学部

ヒューマンサービス論Ⅰ.

2) 大学院

(1) 保健福祉学研究科博士前期課程 看護学特別研究.

(2) 保健福祉学研究科博士後期課程 保健福祉学特別研究.

9 学内各種委員会活動

- 1) 役員会, 2018.4.～
- 2) 教育研究審議会, 2018.4.～
- 3) 全学入試委員会, 2018.4.～
- 4) 自己評価審査会, 2018.4.～
- 5) 自己評価・内部質保証審査会, 2021.4.～

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 村上明美研究代表者. 助産師教育における実習生の質保証のための助産学共用試験の実用化と認証システム開発. 科学研究費助成事業科学研究費補助金基盤研究(B), 6760千円, 2020.4.～2024.3.
- 2) 村上明美研究代表者. 今後の社会情勢や助産師の活躍の場の発展を見据えた技術教育の内容及び方法の確立のための研究. 厚生労働推進事業費, 5607千円, 2021.4.～2022.3.
- 3) 村上明美研究分担者. 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金基盤研究(C)(一般), 1200千円, 2022.4.～2023.3.

12 受賞

- 1) 神奈川県看護賞, 2023.5.

榑 恵子（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 森本淳子, 榑恵子. (2023). COVID-19 感染症流行下における精神障害のある母親への支援と今後の課題 ―行政保健師を対象とした調査から―. 日本精神保健看護学会誌, 36(1), 67-73.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本精神保健看護学会誌編集委員（副委員長）, 通年.
- 2) 日本家族看護学学会第 31 回学術集会企画委員, 通年
- 3) 神奈川県看護師等養成機関連絡協議会会長, 5 月迄.

5 社会貢献

- 1) 厚木看護専門学校 学校関係者評価会議委員, 書類審査, 2023.6.
- 2) 教員オンラインサポートグループ: 精神看護学教員のつどい代表, 通年.
- 3) オープンキャンパス, 看護学科説明会, 2023.8.5～6.

6 講演, 放送

- 1) 横須賀市市民大学夏季特別講座講師「プチうつのはづきとセルフケア」, 2023.8.26.

川名 るり（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 川名るり. (2024). 第3章研究成果の発表. 筒井真優美 (監), アクションリサーチ入門 (pp.118-176). 照林社.
- 2) 川名るり. (2023). 3小児の運動機能障害のアセスメント, 4運動機能障害がある小児の患者の看護. 石川ふみよ (編), 運動機能障害(第3版)ナースング・グラフィカ 健康の回復と看護⑤(pp.121-123, 123-126). メディカ出版.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本赤十字看護学会誌 専任査読委員, 2010.2.～
- 2) 一般社団法人 日本小児看護学会 専任査読委員, 2010.4.～
- 3) 公益財団法人 日本小児保健協会 専任査読委員, 2015.4.～
- 4) 国際ケアリング学会 評議員, 2016.6.～
- 5) 公益社団法人 日本看護科学学会誌 専任査読委員, 2019.10.～
- 6) 一般社団法人 日本小児看護学会 評議員, 2021.7.～
- 7) 一般社団法人 日本看護系大学協議会 高度実践看護師教育課程認定委員会 小児看護専門分科会委員, 2022.7.～
- 8) 公益社団法人 日本看護科学学会 代議員, 2023.2.～
- 9) 一般社団法人 日本小児看護学会第34回学術集会 一般演題査読者, 2023.3.～
- 10) ヒューマンサービス学会 学会誌編集委員兼事務局, 2023.6.～
- 11) 第43回日本看護科学学会学術集会 一般演題査読者, 2023.6.～
- 12) 一般社団法人 日本小児看護学会 広報委員, 2023.7.～
- 13) 一般社団法人 日本小児看護学会 教育委員, 2023.7.～
- 14) 神奈川県立保健福祉大学誌 論文査読, 2023.7.～
- 15) 一般財団法人 日本看護学教育評価機構 評価員, 2023.8.～
- 16) 公益社団法人 日本看護科学学会 優秀賞奨励賞候補論文 審査委員, 2023.9.～

5 社会貢献

- 1) 神奈川県立保健福祉大学大学院, 大学院説明会, 2023.6.17.
- 2) 神奈川県立保健福祉大学, 夢ナビ: 研究室訪問, 2023.7.15.
- 3) 神奈川県立保健福祉大学オープンキャンパス, 個別相談, 2023.8.5.
- 4) 神奈川県立こども医療センター, 第11回エキスパートナースコース研究支援①, 2023.10.19.
- 5) 神奈川県立こども医療センター, 第10回エキスパートナースコース研究支援「中間発表会」, 2023.11.6.
- 6) 英理女子学院高等学校, 模擬授業, 2023.11.28.
- 7) 神奈川県立こども医療センター, 第11回エキスパートナースコース研究支援②, 2024.2.6.
- 8) 日本赤十字看護大学大学院看護学研究科「博士後期課程特別研究(小児看護学)」研究指導, 2024.2.～

6 講演、放送

- 1) 一般財団法人放送大学教育振興会, 小児看護学('22), 第 3 回「幼児期の子どもと家族」担当講師, テレビ・インターネット配信.
- 2) 一般財団法人放送大学教育振興会, 小児看護学('22), 第 4 回「学童期・思春期の子どもと家族」担当講師, テレビ・インターネット配信.
- 3) 一般財団法人放送大学教育振興会, 小児看護学('22), 第 8 回「先天性疾患のある子どもと家族」担当講師, テレビ・インターネット配信.
- 4) 一般財団法人放送大学教育振興会, 小児看護学('22), 第 9 回「手術を受ける子どもと家族」担当講師, テレビ・インターネット配信.
- 5) 一般財団法人放送大学教育振興会, 小児看護学('22), 第 10 回「慢性期にある子どもと家族／外来における看護」担当講師, テレビ・インターネット配信.
- 6) 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 感染管理認定看護師教育課程 共通科目 (教育指導) 講師, 2023.6.2, 6.9.
- 7) 神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター, 教員・教育担当者養成課程看護コース 看護教育課程論 (小児看護学) 講師, 2022.6.8.
- 8) 神奈川県立こども医療センター, 小児看護エキスパートナースコース「研究に関する知識①」講師, 2023.8.3.
- 9) 日本運動器看護学会認定運動器看護師育成講座, 「成長発達と運動機能障害に合わせた看護」講師, 2023.10.16～11.13.
- 10) 神奈川県立こども医療センター, 小児看護エキスパートナースコース「研究に関する知識②」講師, 2023.10.19.
- 11) 神奈川県立こども医療センター, 看護集談会「研究発表」講評, 2023.11.19.

7 学会等での活動

- 1) 川名るり, 谷口千絵, 鈴木翼. (2023,12 月 9-10 日). 日本における母子の看護の向上を目指す小児看護専門看護師の実践に関する文献検討. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 山口県.
<https://confit.atlas.jp/guide/event/jans43/subject/P20-24/detail?eventCode=jans43>
- 2) 谷口千絵, 川名るり, 鈴木翼. (2023,12 月 9-10 日). 母子の看護の向上をめざした専門性の拡充を目的とした高度実践看護の役割開発に関する文献検討, 山口県.
<https://confit.atlas.jp/guide/event/jans43/subject/P20-04/detail>
- 3) 鈴木翼, 川名るり. (2023,12 月 9-10 日). 児童精神科領域における看護学実習に関する文献検討. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 山口県.
<https://confit.atlas.jp/guide/event/jans43/subject/P19-13/detail>
- 4) 日本小児看護学会災害ネットワーク, 神奈川県地区担当.

8 学内教育活動

- 1) 学部
小児看護学Ⅰ・Ⅱ, 小児看護学実習, 臨床看護応用演習, 統合実習, 卒業研究.

2) 大学院

< 博士前期課程 >

小児看護学特論Ⅰ～Ⅴ, 小児看護学演習Ⅰ～Ⅲ, 小児看護学実習Ⅰ～Ⅲ, 看護課題研究, 研究法Ⅱ (質的研究法), 病態生理学.

< 博士後期課程 >

成長発達期健康看護特論.

< 論文指導・審査 >

博士後期課程 指導補助教員: 2 名担当

博士後期課程 博士論文最終審査会審査員 副査: 1 名担当

博士後期課程 博士論文研究計画書審査会審査員 副査: 1 名担当

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科教務委員会, 委員長, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 全学教務委員会, 副委員長, 2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 学科教授会, 2023.4.1～2024.3.31.
- 4) 看護領域研究科委員会, 2023.4.1～2024.3.31.
- 5) 学部教授会, 2023.4.1～2024.3.31.
- 6) 研究科委員会, 2023.4.1～2024.3.31.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 川名るり研究代表者, 有元典文. 多様化した小児医療現場での技能転移促進に向けた学習デザインモデルの構築. 令和 3 年度～令和 6 年度学術研究助成基金助成金基盤研究(C), 910 千円, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 谷口千絵研究代表者, 川名るり, 鈴木翼. 助産師と小児専門看護師の実践能力の共有—母子の看護の向上をめざした専門性の拡充. 令和 4 年度～令和 6 年度学術研究助成基金助成金基盤研究(C), 650 千円, 2023.4.1～2024.3.31.

14 その他

- 1) 一般財団法人 放送大学教育振興会, 小児看護学('22), 第 1 学期単位認定試験問題作成.
- 2) 一般財団法人 放送大学教育振興会, 小児看護学('22), 第 2 学期単位認定試験問題作成.
- 3) 一般財団法人 放送大学教育振興会, 小児看護学('22), 自習型問題. 試験問題作成.
- 4) 一般財団法人 放送大学教育振興会, 小児看護学('22), 提出型問題. 試験問題作成.
- 5) 日本運動器看護学会認定運動器看護師, 認定資格試験問題作成.
- 6) 日本運動器看護学会認定運動器看護師育成講座, 受講者による記述設問への回答.
- 7) 川名るり. みんなで学び合う「小児看護学」: 神奈川県立保健福祉大学教員による学問のミニ講義. 夢ナビ:

<https://douga.yumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2022002065?back=>

高橋 奈津子（大学院保健福祉学科研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 林直子, 高橋奈津子, 鈴木久美, 中山直子, 府川晃子. (2023). 女性乳がん患者の妊孕性温存に関する意思決定支援の現状と課題. 保健の科学, 65(12), 809-815.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護学会 慢性期看護 査読委員, 2017.4.1.～
- 2) 日本保健医療社会学会 査読委員, 2019.4.1.～
- 3) 聖路加看護同窓会役員, 2020.4.1.～
- 4) 聖路加看護学会 学術交流委員, 2022.4.1.～
- 5) 第 17 回日本慢性看護学会学術集会企画委員, 2021.4.1.～2023.9.30.
- 6) 聖路加看護学会 看護実践科学研究助成基金選考委員, 2022.11.24.～2024.3.31.
- 7) 日本がん看護学会学術委員, 2023.3.1～
- 8) 日本がん看護学会研究助成選考委員, 2023.3.1～

5 社会貢献

- 1) 高校生向け大学説明会 模擬授業, 2023.7.8.
- 2) オープンキャンパス, 2023.8.6.

7 学会等での活動

- 1) 戸沢智也, 佐藤幹代, 森田夏実, 射場典子, 瀬戸山陽子, 高橋奈津子他. (2023,8 月 27 日). コロナ禍における DIPEX-Japan の語りのデータベースを活用した授業の展望. 第 33 回日本看護学教育学会学術集会プログラム集(p.36), 福岡.
- 2) 高橋奈津子. (2023,9 月 2 日). シンポジウム 1 (教育) 未来の慢性看護を担う人への看護教育を創造する: 慢性の病いの語り映像を活用した看護教育の可能性と課題. 第 17 回日本慢性看護学会学術集会プログラム・抄録集 (p.31), 川崎.
- 3) 佐藤幹代, 森田夏実, 射場典子, 瀬戸山陽子, 高橋奈津子, 原田雅義他. (2023,10 月 7 日). 患者の語り映像を使った授業案を考えて、授業を体験しよう! .第 86 回医学教育セミナー, 富山.
- 4) 高木美帆, 高橋奈津子. (2024,2 月 25 日). 乳がん患者に対する認知行動療法に関する文献レビュー. 第 38 回日本がん看護学会学術集会プログラム集 (p.49), 神戸.
- 5) シンポジウム 3 「未来の人のためにー慢性看護のケアイノベーションを生み出す研究の可能性を求めて」座長. 第 17 回日本慢性看護学会学術集会, 2023.9.3.
- 6) 一般演題座長. 第 54 回日本看護学会学術集会, 2023.9.30.

8 学内教育活動

- 1) 学部
成人看護学（慢性期）Ⅰ, 成人看護学（慢性期）Ⅱ, 卒業研究, 統合実習,
成人看護学（慢性期）実習.
- 2) 大学院

博士前期課程 指導補助教員

3) 実践教育センター

看護教育課程論（成人看護学）2023.6.2.

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科教務委員会, 2022.4.1～
- 2) 看護学科学生委員会委員長, 2023.4.1～
- 3) 看護学科教授会, 2023.4.1～
- 4) 看護領域研究科委員会, 2022.4.1～
- 5) 学部教授会, 2022.4.1～
- 6) 研究科教授会, 2022.4.1～
- 7) 学部学生委員会, 2023.4.1～

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 高橋奈津子研究代表者, 中山直子, 佐藤幹代, 米田昭子研究分担者. 看護基礎教育における糖尿病の語りをいかしたセルフマネジメント支援教材の開発. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 4420 千円, 2019.4.1～2024.3.31.
- 2) 林直子研究代表者, 高橋奈津子, 鈴木久美, 内藤立暁研究分担者. 学術研究助成基金助成金 挑戦的研究 (開拓), 22,230 千円, 2021.7.9～2027.3.31.
- 3) 有森直子研究代表者, 高橋奈津子研究協力者. 周産期にある家族の価値観を尊重した多職種連携ー共有意思決定支援に基づく支援アルゴリズムと実装をめざしたフローチャートの開発ーがんと妊娠班. 日本医療研究開発機構 支援研究 (AMED), 23,083 千円, 2021.4.1～2024.3.31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 高山千春, 安藤里恵, 高橋奈津子. 慢性疾患との共生を支えるナラティブをいかしたセルフマネジメント支援教材の開発と評価. 2023 年度研究助成 B (奨励研究), 332 千円, 2023.5.23～2024.3.31.

谷口 千絵（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

吉田みつ子, 谷口千絵, 喜多里己, 遠山義人. (2023). 妊娠期にがんと診断された妊産婦とその家族に実施された助産ケアに関する記述研究. 日本看護科学学会誌, 43, 164-173.
<https://doi.org/10.5630/JANS.43.164>

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本助産学会研修・教育委員, 2008.4.～2024 年社員総会終結まで.
- 2) 日本保健科学学会評議員, 2008.10～2025 年度総会終了時.
- 3) 日本赤十字看護学会編集委員, 2021.9.11～2024 年総会まで.
- 4) 一般社団法人日本看護学教育評価機構評価員研修委員会委員, 2019.4.1～2024 年社員総会終結まで.
- 5) 一般社団法人日本助産学会代議員, 2020.3.31～2024 年定時社員総会終結まで.
- 6) 一般社団法人日本助産学会 専任査読委員, 2023.4.1～2025.3.31 まで.
- 7) 公益社団法人日本看護科学学会代議員, 2023.2.28～2027 年次期代議員選挙結果公表日まで.
- 8) 一般財団法人日本助産評価機構助産教育認証評価部評価委員, 2023.4.1～2025.3.31.
- 9) 公益社団法人全国助産師教育協議会理事, 2023.6.17～2025 定時社員総会まで.
- 10) 香川大学看護学雑誌査読委員, 2023.8.1～2025.7.31 まで.

5 社会貢献

- 1) 神奈川県立市ヶ尾高等学校出張講義「看護学と助産学」, 2023.5.8.

6 講演, 放送

- 1) 東京かつしか母子医療センター「倫理研修会Ⅱ」講師, 2023.11.17.

7 学会等での活動

- 1) 公益社団法人日本助産学会研修・教育委員主催研修会「女性と漢方: 講師 津田篤太郎」オンライン開催およびオンデマンド配信. 2023.7.1.
- 2) 第 37 回日本助産学会学術集会一般演題査読者.
- 3) 第 37 回日本助産学会学術集会一般演題（口演）座長「一般演題 1 妊娠期のケア①」. 2023.10.8.
- 4) Taniguchi, C., Miyagawa, S., Watanabe, H., Watanabe, N., Izumi, M., Manabe, E., Murakami, A. (2023.6.11). Actual State of Practical Training on Delivery Assistance Related to Eligibility for Taking National Midwifery Examination. 33rd ICM Triennial Congress, Bali, Indonesia.
- 5) Miyagawa, S., Taniguchi, C., Izumi, M., Manabe, E., Watanabe, N., Watanabe, H., Murakami, A. (2023.6.11). Survey on the Influence of On-site Practice and Complementary Education by Covid-19 in Midwifery Education in Japan. 3rd ICM Triennial Congress, Bali, Indonesia.

- 6) 田村由美, 吉田みつ子, 中川典子, 濱田真由美, 谷口千絵, 木村勇喜, 吉田和美, 小野芳子, 近末清美, 宗内桂, 木下真吾. (2023,7月29-30日). 論文投稿から採択までの A to Z. 第24回日本赤十字看護学会 交流セッションⅡ, プログラム・講演集(p.158), 仙台.
- 7) 谷口千絵, 五十嵐稔子. (2023,10月8-9日). 新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における看護/助産ケア—周産期医療機関の実態調査—. 第37回日本助産学会学術集会., 聖路加国際大学ハイブリッド開催, 東京.
- 8) 谷口千絵, 川名るり, 鈴木翼. (2023,12月9日). 母子の看護の向上をめざした専門性の拡充を目的とした高度実践看護の役割開発に関する文献検討. 第43回日本看護科学学会学術集会, 海峡メッセ下関.
- 9) 川名るり, 谷口千絵, 鈴木翼. (2023,12月9日). 日本における母子の看護の向上を目指す小児看護専門看護師の実践に関する文献検討. 第43回日本看護科学学会学術集会, 海峡メッセ下関.
- 10) 藤井宏子, 谷口千絵, 宮川幸代, 浅見恵梨子, 渡邊典子, 野原留美, 松崎政代, 和泉美枝, 眞鍋えみ子, 渡邊浩子, 村上明美. (2023,12月9日). 分娩期の助産技術に関するルーブリックの開発: 卒業時の到達目標に基づいて. 第43回日本看護科学学会学術集会, 海峡メッセ下関.
- 11) 吉田みつ子, 喜多里己, 遠山義人, 谷口千絵. (2024,2月24-25日). 妊娠期がんと診断された女性と家族に対する看護職の実践: 妊娠期および出産後の育児支援. 第38回日本がん看護学会学術集会, 神戸市国際展示場2号館・3号館・神戸市国際会議場.

8 学内教育活動

1) 学部

リプロダクティブ・ヘルスケアⅠ, リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ, リプロダクティブ・ヘルスケア実習, 助産診断技術学Ⅰ, 性と生殖の生理と病態, 地域母子保健, ハイリスク母子の治療とケア, 助産学実習, 統合実習, 卒業研究, 問題に基づく学習方法(PBL) チューター.

ニューカッスル大学助産師教育課程の大学院生のスタディツアー受け入れ.

2) 大学院

博士前期課程 1名指導補助教員.

博士後期課程 1名指導補助教員.

博士後期課程 1名副査.

博士課程前期 ウィメンズヘルスケア特論, ウィメンズヘルスケア演習.

9 学内各種委員会活動

1) 学部入学者選抜委員, 2022.4.1～2024.3.31.

2) アドミッションセンター評価運営部門, 2023.4.1～2024.3.31.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 村上明美研究代表者，谷口千絵分担研究者．助産師教育における実習生の質保証のための助産学共用試験の実用化と認証システム開発．令和 2～4 年度科学研究費補助金 基盤研究(B)，100 千円，2020.4.1～2024.3.31.
- 2) 村上明美研究代表者，谷口千絵分担研究者．今度の社会情勢や助産師の活躍の場の発展を見据えた技術教育の内容及び方法の確立のための研究．令和 3～5 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業），700 千円，2021.4.1～2024.3.31.
- 3) 谷口千絵研究代表者．助産師と小児専門看護師の実践能力の共有－母子の看護の向上をめざした専門性の拡充．令和 4 年～6 年度学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C)，780 千円，2022.4.1.～2025.3.31.
- 4) 谷口千絵研究代表者．新型コロナウイルス感染症拡大下における周産期の母子への看護/助産ケアに関する研究．公益社団法人日本看護協会感染拡大に備える看護提供体制の確保に関する調査研究助成，1,283 千円，2022.8.24～2023.10.31.

臺 有桂（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 臺有桂. (2024). 新用語「介護予防支援事業に関する情報提供の求め等」「特定健康診査の結果通知」. 村川浩一, 中島健一 (編), 「Q&A 高齢者介護用語・手続事典」加除式追録 88.89 号. 新日本法規出版株式会社.

3 その他の著作

- 1) 中山直子, 神崎由紀, 大河内彩子, 斉藤恵美子, 矢島正栄, 荒木田美香子, 臺有桂, 村嶋幸代 (全国保健師教育機関協議会・教育評価準備委員会). (2023). 保健師教育の評価に関する会員校意向調査. 保健師教育, 7(1), 39-45.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本在宅看護学会誌 査読委員, 2020.4.1.～
- 2) 横須賀市都市計画課・開発審査会委員, 2021.4.～
- 3) 横須賀市国民健康保険運営協議会委員, 2021.4.～
- 4) 日本保健師連絡協議会 幹事会メンバー, 2021.6.～
- 5) 神奈川県厚木保健福祉事務所母子保健委員会委員／アドバイザー, 2021.10.～
- 6) 日本地域看護学会 第 24 回学術集会企画委員, 2021.12.～2023.12.
- 7) 小田原市健康増進計画推進委員会委員, 2022.7.～
- 8) 日本公衆衛生看護学会・代議員／学会誌編集委員会・委員, 2023.6.～
- 9) 日本健康教育学会・代議員／査読委員, 2023.6.～
- 10) 日本在宅ケア学会・代議員／ケアガイドライン改定委員会・委員, 2023.6.～
- 11) 日本在宅看護学会・代議員／倫理審査委員会・委員, 2023.6.～
- 12) 日本在宅ケア学会 第 29 回学術集会企画委員, 2023.11.～
- 13) 一般社団法人全国保健師教育機関協議会 理事 (副会長), 2021.6.～2023.6.
- 14) 一般社団法人全国保健師教育機関協議会 理事 (会長), 2023.6.～
- 15) 文部科学省・看護学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する委員, 2023.7.～
- 16) 日本看護協会 保健師に係る政策会議 委員, 2023.8.～
- 17) 鎌倉保健福祉事務所難病対策地域協議会 委員, 2023.11.～

5 社会貢献

- 1) 大学院入試説明会, 2023.6.17.
- 2) オープンキャンパス, 2023.8.6.
- 3) 神奈川県保健師の仕事説明会・就職説明会幹事校, 2023.8.28, 2024.3.5.
- 4) 神奈川県平塚特別支援学校 (高等部) 高校生向け出張講義, 2023.9.20.
- 5) 横須賀高校 SSH Principia I 担当, 2023.4.～2024.3.

6 講演, 放送

- 1) 熊本大学医学部看護学科 (保健師課程)・公衆衛生看護管理論「健康危機管理 (感染症・災害)」非常勤講師, 2023.6.2～6.9.

- 2) 横浜市・実習指導者研修「保健師教育カリキュラムの現状」「保健師養成と学生の状況」「公衆衛生看護学実習のよりよい展開に向けて」講師, 2023.6.6.
- 3) 神奈川県訪問看護協議会・横三地区研修会「事業継続計画（BCP）策定のポイント」講師, 2023.7.1.
- 4) 川崎市こども未来局保育事業部運営管理課・保育士等キャリアアップ研修“保健衛生・安全対策分野”「保健計画の作成と活用」,「保育所における感染症対策ガイドライン」,「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」講師, 2023.8.～2023.9.
- 5) 相模原市保育課・保育士ステップアップ研修「保健計画の作成」「事故防止・安全管理」講師, 2023.8.～2023.11.
- 6) 川崎市子育て支援センター職員研修「感染症対策および事故防止対策」講師, 2022.8.25.
- 7) 神奈川県・保健所の実習指導に関する保健師研修会「保健師・新カリキュラムの概要」「別表 11 を用いた実習指導」講師, 2023.9.15.
- 8) 横浜市健康福祉局福祉保健課・人材育成 2 年目保健師研修会「個・家族の事例からグループ・地域支援への展開」講師, 2023.10.5.
- 9) 横浜市・保健師人材育成検討会「2040 年を見据えた保健師を取り巻く現状」講師, 2023.10.6.
- 10) 慈恵医科大学教育センター・認定看護管理者教育課程ファーストレベル「ヘルスケアシステム論 I_社会保障制度論」講師, 2023.10.8.
- 11) 小田原保健福祉事務所足柄上センター「保健師の人材育成～現場で保健師活動を推進するための工夫～」講師, 2023.10.10.
- 12) 茅ヶ崎市保健所・管内保健師研修会 中堅期研修「中堅期のうちに知っておきたい管理期保健師の役割」講師, ファシリテーター／講師, 2023.10.24.
- 13) 川崎市・中堅前期保健師研修「保健事業の改善に向けた評価」講師, 2023.11.7.
- 14) 厚木保健福祉事務所・管内保健師業務連絡会議定例連絡会保健師リーダー会議「統括保健師に求められること」講師, 2023.11.8, 厚木保健福祉事務所.
- 15) 神奈川県・市町村保健師管理者能力育成研修「根拠に基づく事業・施策の展開」／全体会講師, 2023.11.～2024.1.
- 16) 全国保健師長会川崎支部・次世代を考え合う研修会～育ちあう関係へ～「地区担当制を考える」「地域に責任を持つとは」「地域で得た質的データを保健活動に活かしていますか」講師, 2023.12.2.
- 17) 川崎市・中堅後期保健師研修「保健活動の見える化と事業化・施策化」講師, 2023.12.7.
- 18) 厚木保健福祉事務所・母子保健委員会実務担当者会議「母子保健の動向と今後の展望～令和 6 年度母子保健対策予算概算要求の概要から～」講師, 2023.12.11.
- 19) 川崎市高津区・保健師人材育成研修会「保健事業の見える化と事業評価について」講師, 2023.12.12.
- 20) 三浦市保健衛生委員会全体会研修会「地域ぐるみの防災・減災」講師, 2023.12.19.
- 21) 鎌倉保健福祉事務所三崎センター・難病講演会／難病患者在宅ケア従事者研修会「難病患者とみんなで作る災害時“個別避難計画”」講師, 2024.1.30.
- 22) 神奈川県・保健師研修（基礎・後期）「個別支援を振り返ろう～事例検討の意義を知る」講師, 2024.2.26.

- 23) 千葉県習志野保健福祉事務所・管内保健師研究会「新人保健師を受け入れる上での心構え」講師, 2024.3.1.
- 24) 厚木保健福祉事務所・児童虐待予防事業支援者向け研修会「母子保健における虐待対応について～保健師に求められる使命とは～」講師, 2024.3.5.
- 25) 神奈川県・保健福祉事務所等保健師研修「保健師としてのキャリアプランを考える～少人数配属所属保健師の活動報告から～」助言者, 2024.3.11.

7 学会等での活動

- 1) パネルディスカッション1「健康無関心層へのアプローチ」座長. 第26回日本地域看護学会学術集会(オンデマンド).
- 2) ワークショップ1「有事のための地域連携-自治体と訪問看護事業所の連携に注目して-」主催者/指定発言者. 第26回日本地域看護学会学術集会(於:川崎市立看護大学), 2023.9.2-3.
- 3) 公開ワークショップ「哲学カフェ～“共に生きる”ってどういうこと?」座長. 第28回日本在宅ケア学会学術集会(於:大阪大学コンベンションセンター), 2023.11.11.
- 4) ワークショップ7-6. 保健師の確保が困難時代を乗り越える!～自治体保健師の計画的・継続的な確保にむけてのヒントを探そう～,主催者. 第12回日本公衆衛生看護学会学術集会(於:北九州国際会議場), 2024.1.7.
- 5) 櫻澤幸奈, 田中智子, 臺有桂. (2024,1月6-7日). 児童虐待予防支援事業における市町村保健師の意識調査から見た県型保健所保健師の役割. 第12回日本公衆衛生看護学会学術集会, 福岡.
- 6) 清水信輔, 臺有桂, 嶋津多恵子. (2024,1月6-7日). 若年労働者における食生活リテラシーの関連要因の検討. 第12回日本公衆衛生看護学会学術集会, 福岡.
- 7) 保健師未来を拓くプロジェクト(日本公衆衛生看護学会、全国保健師長会、全国保健師教育機関協議会合同プロジェクト), 発起人/企画班, 2023.7.～
- 8) 臺有桂(全国保健師教育機関協議会):保健師教育のさらなる充実に向けて.日本保健師連絡協議会 2023 年度活動報告集会, 2024.3.24.

8 学内教育活動

1) 学部

地域看護学Ⅰ, 地域看護学Ⅱ, 地域看護学実習, 公衆衛生看護活動論, 公衆衛生看護演習Ⅰ, 公衆衛生看護演習Ⅱ, 公衆衛生看護管理論Ⅰ, 公衆衛生看護管理論Ⅱ, 公衆衛生看護学実習, 災害看護論, 地域母子保健, 統合実習, 卒業研究.

2) 大学院

ケアマネジメント・地域ケア特論, 地域看護学特論, 地域看護学演習.

研究指導教員: 博士前期課程 1 名

研究指導補助教員: 博士前期課程 1 名, 博士後期課程 1 名

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究科入試委員会 副委員長 2023.4.～2024.3.
- 2) 衛生委員会, 2021.4.～

- 3) 看護学科教授会, 2021.4.～
- 4) 看護領域研究科委員会, 2021.4.～

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 手島恵研究代表者, 臺有桂, 鶴若麻理研究分担者. 持続可能な開発目標 (SDG s) の看護継続教育への普及促進と評価. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 3,380 千円, 2022.4.～2025.3.
- 2) 石村珠美研究代表, 臺有桂, 市原真穂研究分担者. 幼児期の医療的ケア児を育てる母親の強みに対する支援 - プロダクティビティの観点から. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 3,250 千円, 2023.4.～2026.3.
- 3) 村嶋幸代研究代表者, 川崎涼子, 加藤典子, 佐伯和子, 田村秀, 岸恵美子, 臺有桂, 小野治子, 岡田悠希分担研究者. 自治体保健師の計画的・継続的な確保に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 健康安全・危機管理対策総合研究事業, 10,000 千円, 2023.4～2025.3.

14 その他

- 1) 兪炳匡研究代表者, 臺有桂 (協力者). 特定保健指導実施率向上事業(葉山町)_神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター (CIP) の研究プロジェクト「予防医療教育プログラムの開発と評価」

野村 美香（大学院保健福祉学研究科兼務）

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本がん看護学会，代議員，社員総会で会員を代表して意思を表明し議決する．2021.2.～
- 2) 日本がん看護学会，専任査読者，年に数本の学術論文を査読する．2021.4.～
- 3) 日本赤十字看護学会，専任査読者，年に数本の学術論文を査読する．2022.4.～

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパスにおいて個別相談を担当した．2023.8.7.

6 講演，放送

- 1) 実践教育センター主催「がん患者支援講座」講師，2023.10.7.

8 学内教育活動

1) 学部

成人看護学（急性期）Ⅰ，成人看護学（急性期）Ⅱ，成人看護学（急性期）実習については科目責任者として，科目全体の運営と講義，演習，実習指導を担当した．今年度は，健康危機への対応力を向上させる臨床判断を組み込んだ演習の実施，洗練に取り組んだ．実習に際しては，学生指導を多角的に行うための指導体制の構築，新規実習施設の開拓に取り組み，学生の主体性が発揮できる実習指導を徹底したて実施した．統合実習では4名の学生を担当し，手術室と救命救急センターでの実習指導を行った．卒業研究では，2名の学生を担当し，手術室における倫理的課題と人工肛門のセルフケアに関する研究計画を指導した．

2) 大学院

高度実践看護師教育課程において，1名の2年次学生に対して，がん看護専門看護師コースのカリキュラムを運営した．がん看護学演習Ⅲを担当するだけでなく，科目責任者として，科目全体を統括した．また，がん看護学実習Ⅱ，Ⅲを神奈川県立がんセンターならびに衣笠病院グループの協力を得て実施した．看護課題研究においては，主指導教員として，研究計画書作成析を指導した．さらに，2026年度に予定される専門看護師教育課程更新に向けて，カリキュラム全体の検討を開始した．

- 3) 実践教育センターの教員・教育担当者養成課程における，「研究計画書の作成」「プレゼン・抄録の作成法」，教員・教育担当者養成課程 看護 コースの「看護研究計画演習」の講義・演習を担当した．

9 学内各種委員会活動

- 1) 学部教授会，2023.4.～2024.3.
- 2) 研究科教授会，2023.4.～2024.3.
- 3) 看護領域研究科委員会，2023.4.～2024.3.
- 4) 看護学科教授会，2023.4.～2024.3.
- 5) 研究科運営委員会，2023.4.～2024.3.

6) 実践教育センター副センター長, 2023.4.～2024.3.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 野村美香, 土井英子, 大場美穂. がん検診の受診を支援するリスクコミュニケーショントレーニングプログラムの開発. 科学研究費補助金(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C), 1,040 千円, 2023.4.1～2028.3.31.
- 2) 大場美穂, 真田弘美, 野村美香, 大江真琴, 峰松健夫, 竹原君江, 小林珠実, 土井 英子. 透析患者に対するテーラーメイドケアを目指した非侵襲的な皮膚生理機能評価方法の開発. 科学研究費補助金(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C), 50 千円, 2021.4.1～2025.3.31.

間瀬 由記（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 所澤いづみ, 白水真理子, 間瀬由記. (2023). 慢性疼痛患者に対するアロマセラピーとリフレクソロジーの評価ー組み合わせた施術の疼痛と QOL の検討ー. 日本アロマセラピー学会誌, 22(1), 56-64.
- 2) 黒河内仙奈, 星美鈴, 間瀬由記. (2024). 地域在住高齢者参加型の高齢者看護学演習プログラムの実践報告ー高齢者の参加を促進する環境づくりー. 神奈川県立保健福祉大学誌, 21(1), 63-72.
- 3) 星美鈴, 黒河内仙奈, 間瀬由記, 池田公平, 福岡梨紗. (2024). 高齢者看護学の学内演習における多職種コンサルテーションの実践報告. 神奈川県立保健福祉大学誌, 21(1), 73-84.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本慢性看護学会編集委員会, 専任査読委員, 2022.4.1～2024.3.31.
- 2) 日本糖尿病教育・看護学会編集委員会, 専任査読者, 2022.4.1～2024.3.31.
- 3) 神奈川県看護協会, 看護研究推進支援事業指導講師, 2023.6.～2024.2.

5 社会貢献

- 1) 神奈川県がん放射線療法認定看護師会, 相談役, 2021.7.12～2024.3.31.
- 2) 神奈川県立循環器呼吸器病センター, 看護職者研究指導, 2023.5.～2024.2.
- 3) 横須賀共済病院, 看護職者研究指導, 2023.6.～2024.1.25.
- 4) 鎌倉療育医療センター小さき花の園, 臨床看護研究の指導, 2023.6.～2024.3.31.
- 5) オープンキャンパス, 個別相談, 2023.8.6.
- 6) 2023 年度 神奈川県立鎌倉高等学校 Science Café 講師, 2023.9.12.

6 講演, 放送

- 1) 東京情報大学 非常勤講師, エンドオブライフケア論 (選択科目 1 単位, 6 コマ), 2023.4.14～2023.4.25.
- 2) 星美鈴, 池田公平, 福岡梨紗, 間瀬由記, 黒河内仙奈. (2023, 8 月 8 日). 高齢者看護学の学内演習における多職種コンサルテーションの実践報告. 学内研究発表会プログラム・抄録集(p.7).
- 3) 横須賀共済病院研修 講師, 高齢者の理解ー急性期病院における高齢者の意思決定支援, 2024.1.30.

7 学会等での活動

● 発表

- 1) 長島俊輔, 間瀬由記, 宮芝智子, 星美鈴, 水戸優子. (2023, 12 月 9-10 日). 看護基礎教育における ICT 活用の遠隔授業とシステム整備の実態ーその 1 : 看護専門学校と大学の比較ー. 日本看護科学学会第 43 回学術集会抄録集 (p.710), 山口県. <https://confit.atlas.jp/guide/event/jans43/proceedings/list>

- 2) 間瀬由記, 宮芝智子, 長島俊輔, 星美鈴, 水戸優子. (2023, 12月9-10日). 看護基礎教育におけるICT活用の遠隔授業とシステム整備の実態—その2: 整備上の取り組み・苦慮・工夫—. 日本看護科学学会第43回学術集会抄録集(pp.710-711), 山口県.
<https://confit.atlas.jp/guide/event/jans43/proceedings/list>
- 3) 宮芝智子, 間瀬由記, 長島俊輔, 星美鈴, 水戸優子. (2023, 12月9-10日). 看護基礎教育におけるICT活用の遠隔授業とシステム整備の実態—その3: 遠隔授業の導入・継続の課題—. 日本看護科学学会第43回学術集会抄録集(pp.711-712), 山口県.
<https://confit.atlas.jp/guide/event/jans43/proceedings/list>
- 4) 星美鈴, 間瀬由記, 宮芝智子, 長島俊輔, 水戸優子. (2023, 12月9-10日). COVID-19影響下でのICTを活用した遠隔授業内容と評価指標の実態. 日本看護科学学会第43回学術集会抄録集(p.922), 山口県.
<https://confit.atlas.jp/guide/event/jans43/proceedings/list>

● 交流セッション

- 1) 水戸優子, 間瀬由記, 宮芝智子, 長島俊輔, 星美鈴. (2023, 8月26-27日). 看護基礎教育におけるICT教育環境の実態と課題. 日本看護学教育学会第33回学術集会プログラム・講演集, 33-August, 114, 福岡県.
- 2) 星美鈴, 黒河内仙奈, 間瀬由記. (2023, 8月26-27日). 学生が多職種チームの一員であることを実感できる看護学演習. 日本看護学教育学会第33回学術集会プログラム・講演集, 33-August, 106, 福岡県.

● シンポジスト

- 1) シンポジウム4「地域看護ケアにおけるアロマセラピー」シンポジスト, 日本アロマセラピー学会誌第26回学術総会プログラム・抄録集, 22(2), 39.

8 学内教育活動

- 1) 学部(通年)
看護研究法(4コマ), 終末期看護論, 高齢者看護学Ⅰ, 高齢者看護学Ⅱ, 高齢者看護学実習, 卒業研究.
- 2) 大学院(通年)
ヒューマンサービス特論・演習(2コマ), 看護倫理(1コマ), 病態生理学(2コマ).
- 3) 実践教育センター
看護教育課程論(老年看護学), 2023.6.8.
看護実習指導者講習会(病院等), 実習指導方法論-教育方法と実習指導, 2023.8.1.
看護実習指導者講習会(病院等), 実習指導方法論-実習指導における教材化, 2023.8.9.

9 学内各種委員会活動

- 1) 自己評価専門部会長・自己評価／内部質保証審査会 構成員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 人権・倫理委員 構成員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 弓道サークルの顧問, 2023.4.1～2024.3.31.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者：黒河内仙奈，研究分担者：間瀬由記，島津尚子，小河原格也，末田千恵．脳卒中患者に対する退院前訪問指導マニュアルの開発．学術研究助成基金助成金 基盤研究（C），4,160 千円，2020.4.1～2024.3.31.
- 2) 研究代表者：安藤里恵，研究分担者；奥井良子，中原慎二，白水真理子，間瀬由記．成人期にある 2 型糖尿病患者のための受診中断予防看護モデルと療養支援ツールの開発．学術研究助成基金助成金 基盤研究（C），4,000 千円，2023.4.1～2025.3.31.

11 学内研究助成金などの受託

- 1) 研究代表者；星美鈴，研究分担者；黒河内仙奈，間瀬由記．大学における認知症カフェの試行と学生が参加することによる学習効果．神奈川県立保健福祉大学 研究助成 B（奨励研究），211 千円，2023.5.23～2024.3.31.

水戸 優子（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 黒田由香理, 水戸優子. (2024). 看護学生が基礎看護学実習において患者との関わりのなかで「相手の立場に立って考えた」体験－A 大学における分析－. 神奈川県立保健福祉大学誌, 21(1), 3-12.
- 2) 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森 朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川 学, 高橋恭子, 水戸優子. (2023). 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. 保健医療福祉連携, 17(1), 2-13.
- 3) 渡邊 恵, 長島俊輔, 水戸優子. (2024). 多職種連携教育における「模擬電子カルテ」活用の意義および導入戦略と課題：スコーピングレビュー. ヒューマンサービス学会誌 2023, (1), 18-27.

3 その他の著作

- 1) 水戸優子. (2024). 巻頭言 5 巻発刊に寄せて. 看護人間工学会誌, 5, 1.

4 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 日本看護技術学会 理事, 研究活動推進委員長, 専任査読委員, 研究活動推進委員長として看護技術の研究活動の推進, 学術集会最優秀賞の選出, 研究助成の選考, オンライン研修会開催の企画・運営を行った. さらに日本看護技術学会に投稿された論文の査読を行った. 2023.4.～2024.3.
- 2) 日本看護技術学会 技術研究成果検討委員（移動動作評価班）, 看護系学会等社会保険連合委員, 日本看護技術学会において移動動作評価班に所属し, 研究活動を行った. 2023.4.～2024.3.
- 3) 日本看護学教育学会 評議員, 専任査読者として年 2 回の会議に参加, 並びに 1 本の査読を行った. 2023.4.～2024.3.
- 4) バイオメカニズム学会 評議員として学会運営, 優秀論文の審査. 2023.4.～2024.3.
- 5) 日本看護科学学会 代議員, 社会貢献委員として市民公開講座のパンフレット作成ならびに次世代育成プログラムの企画運営. 2023.4.～2024.3.
- 6) 看護人間工学会 理事長, 評議員として学会の企画運営. 2023.4.～2024.3.
- 7) ヒューマンサービス学会 理事, 事務局長として学会の総務, 広報, 学会誌編集, 会計等活動. 2023.4.～2024.3.

5 社会貢献

- 1) 横須賀共済病院の 5 部門の看護職者研究グループの研究指導. 2023. 6. ～2024. 3.
- 2) 東名厚木病院の 10 部門の看護職者研究グループの研究指導. 2023. 4. ～2024. 3.
- 3) 学内実習ステーションのプレ企画として横須賀市在住の住民に呼びかけ, 模擬患者育成プログラムの研修会講師. 2023.11.

6 講演、放送

- 1) 山梨県立大学大学院博士後期課程「臨床開発学看護学特論」非常勤講師. 2023.7.14.
株式会社メディックメディアのオンラインセミナーにて、「学年を横断して丸ごとつながる！基礎看護学の授業設計」講師. 2023. 11.26.
- 2) 神奈川県立病院機構主催の「人材育成：お互いに学び合い、共に成長できる人材育成に取り組もう」講師. 2023.6.23, 11.2.
- 3) 神奈川県看護協会令和3年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル質管理Ⅱ，看護サービスの質保証(文献の読み方) 講師. 2024.1.11.
- 4) 日本看護技術学会「第13回全国キャラバン研修会ジェネラルナースの技術力を高めよう！移動動作技術のきほんと用具の活用」研修会講師，2024.3.9.
- 5) 日本医療安全学会教育研修委員会企画セミナー2023「バーチャルリアリティを用いた新しい医療安全へのアプローチ～医学・看護から医療安全へ～」講師. 2024.6.24.
- 6) 第11回看護理工学会学術集会3学会ジョイントセッション「エビデンスに基づく看護技術の創成が期待される看護系学会が目指すもの」講師. 2023.6.10.
- 7) 日本看護技術学会第21回学術集会交流セッション「エビデンスに基づく看護技術の創成が期待される看護系学会のチャレンジ」講師. 2023.10.15.
- 8) 第19回医療の質・安全学会学術集会シンポジウムVR・AR・メタバースによる医療安全活動への応用についての講師. 2023.11.25.

7 学会等での活動

- 1) 水戸優子，間瀬由記，宮芝智子，長島俊輔，星美鈴. (2023). 交流セッション21看護基礎教育におけるICT教育環境の実態と課題.日本看護学教育学会第33回学術集会. 発表. 2023.8.27.
- 2) 日本看護技術学会第33回学術集会. 一般演題，教育評価. 座長. 2023.8.27.
- 3) 水戸優子，森朱輝，長島俊輔，佐々木杏子，渡邊恵，加藤木真史，荻原典子. (2023). 看護初学者の看護技術トレーニングシステムの開発と効果—AR法と手順書との比較. 日本看護技術学会第21回学術集会講演抄録集. 発表. 2023.10.15.
- 4) 西田直子，國澤尚子，若村智子，水戸優子，平田美和，富田川智志，首藤英里香. (2023). 交流セッション12再考！用具を使って安全，自立を意識した移動介助の“きほん”. 日本看護技術学会第21回学術集会講演抄録集. 発表. 2023.10.15.
- 5) 長島俊輔，間瀬由記，宮芝智子，星美鈴，水戸優子. (2023). 看護基礎教育におけるICT活用の遠隔授業とシステム整備の実態—その1：看護専門学校と大学の比較. 第43回日本看護科学学会学術集会. 発表. 2023.12.9.
- 6) 間瀬由記，宮芝智子，長島俊輔，星美鈴，水戸優子. (2023). 看護基礎教育におけるICT活用の遠隔授業とシステム整備の実態—その2：整備上の取組み・苦慮・工夫—. 第43回日本看護科学学会学術集会. 発表. 2023.12.9.
- 7) 宮芝智子，間瀬由記，長島俊輔，星美鈴，水戸優子. (2023). 看護基礎教育におけるICT活用の遠隔授業とシステム整備の実態—その3：遠隔授業の導入・継続の課題—. 第43回日本看護科学学会学術集会. 発表. 2023.12.9.
- 8) 高島真美，鮫島輝美，菊原美緒，合田友美，鈴木智恵子，水戸優子，ウィリアムソン彰子，

新屋智子, 米満潔, 田仲浩平. (2023). 看護教育の XR 教材開発プロセスと開発ニーズの明確化. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 発表. 2023.12.10.

9) 星美鈴, 間瀬由記, 宮芝智子, 長島俊輔, 水戸優子. (2023). COVID-19 影響下での ICT を活用した遠隔授業内容と評価指標の実態. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 発表. 2023.12.9.

10) 水戸優子, 丹佳子, 西村礼子, 細田泰子, 三浦友理子. (2023). シンポジウム 3 看護臨床判断のパスpekティブー教育から研究へ. 第 43 回日本看護科学学会学術集会. 座長. 2023.12.10.

8 学内教育活動

1) 学部

看護学原論, ヘルスアセスメント論, 看護技術論Ⅰ, 看護技術論Ⅱ, 看護技術論Ⅲ(看護過程), 看護倫理, 基礎看護学実習Ⅰ, 基礎看護学実習Ⅱ, 基礎看護学実習Ⅲ, 統合実習, 卒業研究. ダンスサークル顧問として, 横須賀市主催の企画への参加を支援した. うみかぜ祭実行委員長の支援を行った.

2) 大学院 (博士前期・後期課程)

博士前期課程の基礎看護学特論, 基礎看護学演習, フィジカルアセスメント, 病態生理学, 看護倫理, 看護学特別研究の科目を担当し, 指導教員として 1 名, 指導補助教員として 1 名の大学院生を指導した. 博士後期課程の科目である包括支援看護学特論, 包括支援看護学演習を担当し, 1 名の院生の主査を務めた. 大学院研究生を 1 名指導した.

3) 実践教育センター

教員・教育担当者養成課程の看護教育課程論(基礎看護学), 看護論演習, 実習指導者講習会の科目看護論(看護理論, 看護過程)を担当した.

9 学内各種委員会活動

1) ヒューマンサービスパーチリーダーとして, メンバーとともにヒューマンサービスパーチ (A552) を開設し, 運営ルールを整備し運営した. 通年.

2) ヒューマンサービスパーチリーダーとしてヒューマンサービス学会ならびに神奈川県立同窓会との連携, 協働を行うしくみを作り, 2023 年 11 月 5 日に第 1 回ヒューマンサービス学会学術集会を開始し, 同窓会企画を支援した. 通年.

3) ヒューマンサービスパーチリーダーとして, 2024 年 1 月 23 日に同窓会と共催して, 国家試験前の学部 4 年生および全学生のための餅つき大会を企画, 運営した. 通年.

4) 学内実習ステーション委員として, 学内実習ステーションの開設に関わり, プレ企画として看護学科学生の看護技術演習に地域住民を「模擬患者」として参加する企画を運営した.

5) 大学院入試委員として入試業務に携わった. 通年.

6) 大学院副研究科長として, 大学院の教育運営に関わった. BP プログラムの申請, 養護専修・栄養専修免許申請に関わる業務に携わった. 通年.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

1) 水戸優子研究代表者. 腰痛予防対策指針をふまえた看護基礎教育における移動技術教育プログラムの普及と実装. 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金 基盤研究 C, 50 千

円，2022.4.～2023.3.

2) 水戸優子研究代表者. 地域・在宅向け腰痛予防対策指針をふまえた移動技術ハイブリッド型研修システムの構築. 科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金 基盤研究 C, 1,470 千円, 2023.4.～2024.3.

3) 鮫島輝美研究代表者, 水戸優子研究分担者. 教育 DX 化にともなう技術教材の教育的意義・活用の開発を目指したアクション・リサーチ. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 B, 18,460 千円 (分担 300 千円), 2023.4.～2024.3.

11 学内研究助成金の受託

森朱輝研究代表者, 水戸優子研究分担者. AR (Augmented Reality : 拡張現実) を用いた標準予防策および手指衛生技術トレーニングプログラムの開発. 看護学科共同研究助成, 200 千円.

12 受賞

神奈川県立保健福祉大学 学長表彰受賞「ヒューマンサービスパーチ運営, 学生・同窓会支援, コロナ禍での遠隔授業体制の整備」. 2024.3.19.

宮芝 智子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 舟島なをみ, 伊勢根尚美, 植田満美子, 上國料美香, 金谷悦子, 鈴木美和, 永野光子, 中山登志子, 服部美香, 松田安弘, 宮芝智子, 山下暢子, 山澄直美. (2024). 第5章 A 教授活動自己評価尺度－看護学講義用－, 第5章 D 教授活動自己評価尺度－看護技術演習用－, 第6章 A 学習活動自己評価尺度－看護技術演習用－. 舟島なをみ(監修), 看護実践・教育のための測定用具ファイル第4版(pp.234-244, 265-275, 309-319). 医学書院.

2 学術論文

- 1) 武信真理子, 宮芝智子, 渡邊千登世. (2024). 看護学生が良いととらえた同時双方向型オンライン授業の特徴－ポストコロナ時代の効果的な授業展開に向けて－. 神奈川県立保健福祉大学大学誌, 21(1), 17-30.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護教育学学会 専任査読者, 2007.4～
- 2) 千葉看護学会 専任査読者, 2016.4.～
- 3) 日本看護学教育学会 評議委員, 2019.1.～
- 4) 日本看護学教育評価機構 評価員, 2021.3.～
- 5) 日本看護学教育学会 専任査読者, 2021.4.～
- 6) 神奈川県看護協会看護研究倫理審査会 委員, 2022.4.～
- 7) 日本看護教育学学会第32回学術集会 企画委員, 2022.12.～2023.11.
- 8) 日本看護科学学会 代議員, 2023.4.～
- 9) 日本看護教育学学会第33回学術集会 企画委員, 2023.12.～

5 社会貢献

- 1) 横須賀共済病院における院内看護研究の指導担当. 2023.4.～2024.3.
- 2) 看護教育学研究 31(1)の論文査読. 2023.4.～2024.3.
- 3) 日本看護学教育学会誌の論文査読. 2023.4.～2024.3.
- 4) 千葉看護学会誌の論文査読. 2023.4.～2024.3.
- 5) 横浜市立市民病院主催の「教育担当者研修」の講師担当. 2023.5.～12.
- 6) 県立鎌倉高等学校における模擬授業を担当. 2023.6.
- 7) 日本看護科学学会第43回学術集会の演題査読. 2023.6.
- 8) 日本看護教育学学会第32回学術集会において演題発表批評を担当. 2023.8.
- 9) 東海大学大学院修士課程の「看護教育論」の講師担当. 2023.9.～2024.1.
- 10) 神奈川県立よこはま看護専門学校の「教育学」の講師担当. 2023.12.
- 11) 神奈川県看護協会主催の「教育担当者研修」の講師担当. 2024.2.
- 12) 看護教育学研究 33(2)の演題査読. 2024.3.
- 13) 日本看護学教育学会第34回学術集会の演題査読. 2024.3.
- 14) 看護学教育評価機構評価委員. 2024.3. ～

7 学会等での活動

- 1) 渡邊千登世, 村上明美, 宮芝智子, 本館教子, 横山郁子, 和田由樹, 兒島良恵. (2023,8月26日). 「病院と地域を横断して働く新人看護師の教育プログラム」の開発. 第27回日本看護管理学会学術集会, 東京.
- 2) 本館教子, 横山郁子, 村上明美, 渡邊千登世, 宮芝智子, 和田由樹, 兒島良恵. (2023,8月26日). 病院と地域を横断して働く新人看護師教育プログラムの開発ー神奈川県内の看護師の新たな働き方モデルー. 第27回日本看護管理学会学術集会, 東京.
- 3) 水戸優子, 間瀬由記, 宮芝智子, 長島俊輔, 星美鈴. (2023,8月27日). 看護基礎教育における ICT 教育環境の実態と課題. 日本看護学教育学会第33回学術集会プログラム・講演集(p.114), 福岡.
- 4) 長島俊輔, 間瀬由記, 宮芝智子, 星美鈴, 水戸優子. (2023,12月9日). 看護基礎教育における ICT 活用の遠隔授業とシステム整備の実態ーその1:看護専門学校と大学の比較. 第43回日本看護科学学会学術集会, 山口.
- 5) 間瀬由記, 宮芝智子, 長島俊輔, 星美鈴, 水戸優子. (2023,12月9日). 看護基礎教育における ICT 活用の遠隔授業とシステム整備の実態ーその2:整備上の取組み・苦慮・工夫. 第43回日本看護科学学会学術集会, 山口.
- 6) 宮芝智子, 間瀬由記, 長島俊輔, 星美鈴, 水戸優子. (2023,12月9日). 看護基礎教育における ICT 活用の遠隔授業とシステム整備の実態ーその3:遠隔授業の導入及び継続の課題. 第43回日本看護科学学会学術集会, 山口.
- 7) 星美鈴, 間瀬由記, 宮芝智子, 長島俊輔, 水戸優子. (2023,12月10日). COVID-19 影響下での ICT を活用した遠隔授業内容と評価指標の実態. 第43回日本看護科学学会学術集会, 山口.

8 学内教育活動

- 1) 学部
エビデンスベーストナーシング (EBN), 問題に基づく学習法 (PBL), 看護教育学, 臨床看護応用演習, 基礎看護学実習 I, 統合実習, 卒業研究.
- 2) 大学院
博士前期課程: 看護教育学特論, 看護理論, 看護教育学演習, 看護学特別研究.
博士後期課程: 保健福祉人材育成論.

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学教育評価ワーキンググループ リーダー, 2023.4.～2024.3.
- 2) 研究委員会, 2023.4.～2024.3.
- 3) 研究助成選考専門部会, 2023.4.～2024.3.
- 4) 看護領域研究科委員会, 2023.4.～2024.3.
- 5) 学科教授会, 2023.4.～2024.3.
- 6) オープンキャンパスの集団相談を担当, 2023.8.
- 7) 夢ナビ講義、講義動画、研究室訪問を担当. 2023.7.～2024.3.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 宮芝智子研究代表者，舟島なをみ研究分担者．看護学教育における授業改善システム【講義・演習版】の開発．平成 30～令和 5 年度学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)，300 千円，2023.4.～2024.3.

大場 美穂（大学院保健福祉学研究科兼務）

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 相談コーナー担当, 2023.8.6.
- 2) 横須賀米海軍病院との交流（産科病棟訓練見学引率）, 2024.2.28.

7 学会等での活動

- 1) 大場美穂. (2023, 5 月 9 日). 看護が支える栄養とは 看護学研究者の立場から. (看護師部会パネルディスカッション 栄養を繋ぐ看看連携について考える ～患者が存在するところに看護と栄養がある～パネリスト). 第 38 回日本臨床栄養代謝学会学術集会, 神戸.
- 2) 加藤綾子, 金澤悠喜, 大場美穂. (2023, 6 月 17 日). 患者の食事摂取量把握に関する看護師の目測値による評価方法と実測値との差異の検討. 第 45 回日本栄養アセスメント研究会プログラム・抄録集, 栄養, 38 (2), 97.

8 学内教育活動

- 1) 学部
成人看護学（急性期）Ⅰ, 成人看護学（急性期）Ⅱ, 成人看護学（急性期）実習, 統合実習, 卒業研究, 臨床看護応用演習, 看護応用ゼミナール.

9 学内各種委員会活動

- 1) ヒューマンサービスセンター 国際協働部門, 部門長, 2023.4.～2024.3.
- 2) 看護学科実習委員会, 2023.4.～2024.3.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 大場美穂研究代表者. 透析患者に対するテーラーメイドケアを目指した非侵襲的な皮膚生理機能評価方法の開発. 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 550 千円, 2023.4.～2024.3.
- 2) 野村美香研究代表者, 大場美穂研究分担者. がん検診の受診を支援するリスクコミュニケーショントレーニングプログラムの開発. 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 30 千円, 2023.4.～2024.3.
- 3) 土井英子研究代表者, 大場美穂研究分担者. 視覚化デバイスを用いた科学技術放射線療法に伴う口腔粘膜炎へのセルフマネジメント支援. 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 50 千円, 2023.4.～2024.3.

加藤木 真史（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 公益社団法人日本看護科学学会監修，看護ケア開発・標準化委員会編集．(2023)．Part2. 各 CQ の推奨分とシステマティックレビュー，CQ2，CQ8. 看護ケアのための便秘時の大腸便貯留アセスメントに関する診療ガイドライン(pp.46-47, 71-81)．南江堂．

2 学術論文

- 1) 渡邊恵，長島俊輔，玉川淳，志村華絵，加藤木真史，佐々木杏子，森朱輝，藤田峰子，長山洋史，池田公平，五味郁子，樋口良子，福岡梨紗，岸川学，高橋恭子，水戸優子．(2023)．多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～．保健医療福祉連携，17(1)，2-13．

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 聖路加看護学会，学会誌編集委員，2018.6.～
- 2) 日本看護技術学会，評議員，2020.6.～
- 3) 日本看護技術学会，編集委員，2020.7.～
- 4) 日本看護技術学会，技術研究成果検討委員，2020.7.～
- 5) 日本看護科学学会，和文誌専任査読委員，2021.10.～
- 6) 日本看護科学学会，「看護ケアのための高齢者の便秘時の大腸便貯留アセスメントに関する診療ガイドライン」SR チーム，2021.12.～2023.9.
- 7) 日本看護研究学会，第 28 回東海地方会学術集会長，2023.3.～2024.3.
- 8) 第 25 回日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会，企画委員，2024.3.～

5 社会貢献

- 1) 東邦大学医療センター大橋病院，院内教育研修講師「看護師が知るべき『からだのしくみ』」，2023.11.6～2023.12.18.

7 学会等での活動

- 1) 水戸優子，森朱輝，長島俊輔，佐々木杏子，渡邊恵，加藤木真史，荻原典子．(2023，10 月 14-15 日)．看護初学者の看護技術トレーニングシステムの開発と評価－AR 法と手順書法との比較－．日本看護技術学会第 21 回学術集会講演抄録集(p.56)，熊本県．
- 2) 前田ひとみ，岡田淳子，大橋久美子，岡田忍，加藤木真史，篠崎恵美子，塚越みどり，長坂猛，橋口暢子，樋之津淳子．(2023，10 月 14-15 日)．交流セッション 2「質の高い論文を目指した編集委員会の活動の紹介～投稿規定及び審査制度の変更について～」．日本看護技術学会第 21 回学術集会講演抄録集(p.113)，熊本県．
- 3) 大久保暢子，本庄恵子，小野田舞，加藤木真史，河合桃代，栗田愛，佐竹澄子，西田直子，野月千春，水戸優子，本舘教子．(2023，10 月 14-15 日)．交流セッション 3「看護技術の成果と診療報酬化について考える～技術研究成果検討委員会の班活動の成果をもとに～」．日本看護技術学会第 21 回学術集会講演抄録集(p.114)，熊本県．
- 4) 河合桃代，渋谷幸，東郷美香子，内山孝子，中山久美子，茂野香おる，縄秀志，佐居由美，

加藤木真史, 川嶋みどり. (2023, 10月14-15日). 交流セッション13「ニューノーマル時代に考える「気持ちよいケア」－変えてはいけない看護の本質一緒に考えませんか?－」. 日本看護技術学会第21回学術集会講演抄録集(p.124), 熊本県.

- 5) 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川学, 高橋恭子, 水戸優子. (2023, 11月5日). 多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果: パイロットスタディ. 第1回ヒューマンサービス学会学術集会講演抄録集(pp.15-16), 神奈川県.
- 6) 加藤木真史. (2024, 3月9日). 会長講演: 研究が拓く看護技術の可能性. 日本看護研究学会第28回東海地方会学術集会抄録集(p.7). オンライン.
- 7) 基調講演「質的研究が拓く看護技術の可能性～看護師にとっての清拭の意味～」座長. (2024, 3月9日). 日本看護研究学会第28回東海地方会学術集会. オンライン.
- 8) シンポジウム「看護技術の研究・実践・教育の循環」座長. (2024, 3月9日). 日本看護研究学会第28回東海地方会学術集会. オンライン.

8 学内教育活動

1) 学部

看護学原論, ヘルスアセスメント論, 看護技術論Ⅰ, 看護技術論Ⅱ, 看護技術論Ⅲ, 基礎看護学実習Ⅰ, 基礎看護学実習Ⅱ, 基礎看護学実習Ⅲ, 問題に基づく学習法(PBL), 看護倫理, 臨床看護応用演習, 統合実習, 卒業研究.

2) 大学院

博士前期課程: フィジカルアセスメント, 基礎看護学特論, 基礎看護学演習.
博士後期課程: 包括支援看護特論.

3) 実践教育センター

看護教育方法演習(アクティブラーニングの実際 シミュレーション).

9 学内各種委員会活動

- 1) オープンキャンパス委員会, 2022.4.～
- 2) 2年次クラス担任, 2023.4.～

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 加藤木真史研究代表者. 内科的治療を受ける入院患者への生活行動に基づく新たな離床看護プログラム開発と評価. 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 若手研究, 4,160千円, 2018.4.1～2024.3.31.
- 2) 加藤木真史研究代表者, 加藤京里, 栗田愛, 菅原啓太, 長島俊輔. 2週間の排便日誌から排便パターンを分類する新しい看護アセスメント方法の確立. 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 4,030千円, 2022.4.1～2026.3.31.

12 受賞

- 1) 日本看護技術学会第20回学術集会最優秀賞(2023, 10月14日表彰).

亀田典宏，縄秀志，佐居由美，加藤木真史，樋勝彩子，鈴木彩加，鹿股美奈子．パートナーシップに基づく市民主体型便秘改善プログラムの評価－自覚症状と腸内環境による検証－．

2) 神奈川県立保健福祉大学学長表彰（2024, 3 月 19 日表彰）．

受賞業績「学生との協働による新たなオープンキャンパス運営他，入試関連業務の遂行」

黒河内 仙奈（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 黒河内仙奈. (2024). 第5章 D 看護活動の場における高齢者事例の展開. 水谷信子, 水野敏子, 高山成子 (監修), 三重野英子, 會田信子, 深堀浩樹 (編), 最新老年看護学 第4版 2024 年版(pp.277-284). 東京: 日本看護協会出版会.

2 学術論文

- 1) 藤田冬子, 村松真澄, 辻村真由子, 黒河内仙奈, 伊藤裕佳, 福井小紀子, 酒井郁子. (2023). 特別養護老人ホーム入居者のエンドオブライフにおけるケアニーズの構造化. 老年看護学, 28(1), 62-71.
- 2) 黒河内仙奈, 星美鈴, 間瀬由記. (2024). 地域在住高齢者参加型の高齢者看護学演習プログラムの実践報告ー高齢者の参加を促進する環境づくりー. 神奈川県立保健福祉大学誌, 21(1), 63-72.
- 3) 星美鈴, 黒河内仙奈, 間瀬由記, 池田公平, 福岡梨紗. (2024). 高齢者看護学の学内演習における多職種コンサルテーションの実践報告. 神奈川県立保健福祉大学誌, 21(1), 73-84.
- 4) 黒河内仙奈, 増谷順子, 織井優貴子. (2023). シミュレーションを基盤とした看護教育のデザインと実践(第8回). 看護人材育成, 20(3), 85-93.

3 その他の著作

- 1) 黒河内仙奈. (2023). 医療情報科学研究所 (編), クエスチョン・バンク 2024 別冊. 東京: メディックメディア.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本老年看護学会, 老年看護政策検討委員会委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 日本老年看護学会, 査読委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 千葉看護学会, 理事, 2023.4.1～2024.3.31.
- 4) 日本リハビリテーション看護学会, 査読委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 5) 日本保健医療福祉連携教育学会, 査読委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 6) 千葉看護学会第29回学術集会, 査読委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 7) 日本老年看護学会第29回学術集会, 査読委員, 2023.4.1～2024.3.31.

5 社会貢献

6 講演, 放送

- 1) 黒河内仙奈「高齢者の社会参加と大学の授業における地域の方々の活躍」横須賀・三浦ブロック ゆめクラブ大学, 2023.10.5
- 2) 黒河内仙奈「看護実践の評価 ー質の高い実践をめざしてー」回復期リハビリテーショ

ン病棟協会第 15 回病棟師長研修会, 2023.9.28

7 学会等での活動

- 1) 黒河内仙奈. 老年看護政策検討委員会企画「介護施設における看護と介護の連携強化によるエンドオブライフケア」座長. 日本老年看護学会第 28 回学術集会. 2023.6.18
- 2) 黒河内仙奈, 岸川学, 池田公平, 長島俊輔, 田中和美, 樋口良子, 福岡梨紗, 渡邊恵, 末田千恵. 地域特性を反映した領域横断型学習教材の開発. 学内研究発表会. 2023.8.8

8 学内教育活動

- 1) 高齢者看護学Ⅰ, 高齢者看護学Ⅱ, 高齢者看護学実習, 看護研究法, 卒業研究, 臨床看護応用演習, 統合実習(高齢者看護学領域).

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護領域研究科委員会, 委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 実習ステーション, 委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 研究科運営会議, 委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 4) 日本看護学教育評価に関するワーキング, 委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 5) 学科国際協働(ニューカッスル大学との交流), 2023.4.1～2024.3.31
- 6) 広報委員会(SNSによる学科広報担当), 2023.4.1～2024.3.31

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 黒河内仙奈(研究代表者), 間瀬由記, 島津尚子, 小河原格也, 末田千恵. 脳卒中患者に対する退院前訪問指導マニュアルの開発. 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 4,160 千円, 2020.4.1～2024.3.31.
- 2) 織井優貴子(研究代表者), 黒河内仙奈. 在宅療養高齢者が生き生き過ごすための「コミュニケーションロボット」の活用と評価. 科学研究費基金 学術研究助成基金助成金 挑戦的研究(萌芽), 6,370 千円, 2019.4.1～2024.3.31.
- 3) 末田千恵(研究代表者), 河原智江, 黒河内仙奈. 在宅看取り支援におけるケアマネジャーの自己評価尺度とスキルアップ支援ツールの開発. 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 4,030 千円, 2022.4.1～2025.3.31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 黒河内仙奈(研究代表者), 岸川学, 池田公平, 長島俊輔, 田中和美, 樋口良子, 福岡梨紗, 渡邊恵, 末田千恵. 地域特性を反映した領域横断型学習教材の洗練と予備的導入. 研究助成 A, 430,240 円, 2023.5.23～2024.3.31.

12 受賞

- 1)
- 2)
- 3)

13 特許など

- 1)
- 2)
- 3)

14 その他

- 1) 横須賀市立看護専門学校における講義「看護研究」14 時間, 2023.4.11～2023.5.2.
- 2) 東京保健医療大学大学院における講義「看護実践研究方法論 実践に積極的に取り込まれることを目指す研究 1」3 時間, 2023.9.30.
- 3) 横須賀市立看護専門学校における「看護研究発表会」講評, 2023.12.20.
- 4) 東京保健医療大学大学院における修士論文審査 (2 件), 2023.12.17.

小林 珠実（大学院保健福祉学研究科兼務）

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本緩和医療学会教育・研修委員会 ELNEC-J コアカリキュラム WG 員，内容（エンドオブライフケアや緩和ケアの教育を行う立場の看護師を対象に，質の高いケアを提供できるように知識・技術を習得するための効果的な教育技法の教授および研修セミナーを担当した）．2022.8～2024.7.

5 社会貢献

- 1) 川崎市立川崎病院における事例研究指導，内容（2年目の看護師を対象に，自身で設定した研究テーマに基づき研究計画書を作成させ，オンラインによる研究指導を行った）．2023.6.～2024.1.
- 2) 日本緩和医療学会主催 第28回 ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラム，内容（エンドオブライフケアや緩和ケアの教育を行う立場の看護師を対象に，知識・技術を習得するための効果的な教育技法・教案作成の教授およびモジュール演習についてオンラインによるファシリテーターを務めた）．2023.9.16. オンライン開催.
- 3) 日本救急看護学会エンドオブライフケア委員会開催 終末期ケアプラクティスセミナー，内容（救急看護に携わる看護師を対象に，講義とグループディスカッション，質疑応答を通して学ぶ救急患者とその家族へのファイナルケアの講演における講師を務めた）．2023.6.18.オンライン開催.

8 学内教育活動

1) 学部

成人看護学（急性期）Ⅰ，成人看護学（急性期）Ⅱ，成人看護学（急性期）実習，統合実習，臨床看護応用演習，卒業研究の科目を担当した．

2) 大学院

がん看護学特論Ⅰ，がん看護学特論Ⅲ，がん看護学特論Ⅳ，がん看護学演習Ⅰ，がん看護学演習Ⅲ，がん看護学実習Ⅰ，がん看護学実習Ⅱ，がん看護学実習Ⅲ，看護課題研究の科目を担当した．本年度は CNS コースの学生 1 名いたことからがん看護学演習Ⅲを 2 コマ担当し，療養場所や治療変更が生じた事例分析・ロールプレイ演習を取り入れて実施した．臨床薬理学の科目責任者として，非常勤講師，ゲストスピーカーの担当調整を図りながら科目を担当した．

3) 実践教育センター

2023 年度がん患者支援講座プログラム＜講座 4＞がんサバイバーとのパートナーシップ ②「がん患者とのコミュニケーション」．内容（看護師，介護士，理学療法士など医療従事者約 40 名を対象に，がんサバイバーとのかかわりに重要なコミュニケーション技法に関する講義およびブレイクアウトルームを用いて事例演習を実施した）．2023.10.7.オンライン開催.

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科進路支援担当，進路支援ワーキング，2023.4.～2024.3.

昨年度に引き続き、看護学科進路支援担当として、クラス担任と協働し、年間を通じた就職支援活動、採用試験にかかわるエントリーシート添削や模擬面接、小論文添削、進路面接を行った。とくに、6月24日に開始した病院施設説明会では、4年ぶりの対面開催として、3年生を対象に就活に関する動機付けをサポートするための支援の機会を設けた。同年12月19日には看護学科主催で進路ガイダンスを開催した。

進路支援ワーキングでのワーキング長として全学科の進路支援担当をとりまとめ、年5回ワーキング会議を開催し、学科内の情報交換、就職支援状況について調整を行った。

- 2) 内部質保証推進部委員として進路支援ワーキング長が担当した。「点検評価ガイドライン」に基づき、進捗状況を情報交換し、全学科で取り組むべき課題や改善点などを検討し、自己評価報告書を作成し提出した。2023.4.～2024.3.

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 土井英子（研究代表者）、野村美香（研究分担者）、小林珠実（研究分担者）、大場美穂（研究分担者）。視覚化デバイスを用いた化学放射線療法に伴う口腔粘膜炎へのセルフマネジメント支援。学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)，50 千円，2020.4.1～2024.3.31.
- 2) 大場美穂（研究代表者）、土井英子（研究分担者）、野村美香（研究分担者）、小林珠実（研究分担者）。透析患者に対するテーラーメイドケアを目指した非侵襲的な皮膚生理機能評価方法の開発。学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)，50 千円，2021.4.1～2024.3.31. 1年間研究継続のため2025.3.31 終了予定。

高橋 佐和子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 高橋佐和子. (2023). 第 21 章養護活動の評価. 津島ひろ江(編), 養護教諭養成講座学校における養護活動の展開改訂 10 版(pp.339-344). ふくろう出版.
- 2) 高橋佐和子. (2023). 第 7 章学校保健における健康危機管理. 荒木田美香子(編), 公衆衛生看護学テキスト第 4 巻公衆衛生看護活動Ⅱ 2023 年版学校保健・産業保健 (pp.114-125). 医歯薬出版.
- 3) 高橋佐和子, 伊藤純子. (2024). 「おも★けん!」新任期でもできる!おもしろ健康教育のつくり方. 医学書院 (2 月発刊予定)

2 学術論文

- 1) 榎本貴志, 木之本奈美, 金坂尚礼, 高津浩彰, 伊藤純子, 高橋佐和子. (2023). 高専学生寮における学生を主体とする健康教育の試み. 豊田工業高等専門学校研究紀要55.
- 2) 伊藤純子, 高橋佐和子. (2023). 地区保健師が捉えているニュータウンの地区特性に関する質的研究. 東海公衆衛生雑誌, 11(1), 119-126.
- 3) Arakida,M., Takahashi,T., Matsuda,Y., Yamabe,Y., Miyamoto,C., Aoki,E., Takahashi,S., Ando,M., Moriya,T., Kodama,S., Yamashita,R., Igarashi,T., Tanizaki,K., Uchida,K.(2023). Investigation of the Possibility of Using an AR-based endotracheal aspiration simulation tool for nursing education. Japan Journal of Nursing Science . https://researchmap.jp/takahashi-mc4/published_papers/44269938

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本公衆衛生看護学会広報委員, 査読委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 神奈川県学校保健事業検討委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 日本創造学会査読委員, 2023.4.1～2024.3.31.

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス, 相談コーナー担当および養護教諭課程の説明動画作成.

6 講演, 放送

- 1) 静岡県立大学, 公衆衛生活動論非常勤講師, 2023.4.
- 2) 湘南鎌倉医療大学, 公衆衛生看護学方法論非常勤講師, 2023.5.
- 3) 東洋大学, 養護実習事前指導非常勤講師, 2023.5.
- 4) 静岡県保健師会, 研修会講師, 2023.5.
- 5) 茨城県養護教諭会, 講演講師, オンライン, 2023.5.
- 6) 海老名市学校保健会, 講演講師, 2023.6.
- 7) 福島県学校保健会伊達支部, 研修会講師, 2023.6.
- 8) 豊田工業高等専門学校, 新入生研修講師, 2023.6.
- 9) 熊本大学, 保健師課程非常勤講師, オンライン, 2023.6.
- 10) 静岡県教育委員会, 中堅養護教諭研修講師, 静岡県教育会館, 2023.6.

- 11) 津久井浜高等学校, 薬物乱用防止教育講師, 2023.6.
- 12) 日総研オンラインセミナー, 助産師研修講師, 2023.7.
- 13) 幸手看護学校, 保健師課程非常勤講師, 2023.7.
- 14) 神奈川県教育委員会, 新規採用養護教諭研修講師, 2023.7.
- 15) 麻布大学附属高等学校, 性教育講師, 2023.7.
- 16) 桜丘学園高等学校, 性教育講師, 2023.7.
- 17) 津島市養護教諭部会, 研修会講師, 2023.7.
- 18) 湖西市養護教諭部会, 研修会講師, 2023.8.
- 19) 徳島県養護教諭部会, 研修会講師, 2023.8.
- 20) 金城大学, 保健師課程非常勤講師, 2023.9.
- 21) 豊田工業高等専門学校, 教員対象研修会講師, 2023.9.
- 22) 横須賀高等学校定時制, 性教育講師, 2023.10.
- 23) 海老名市立中新田小学校, 学校保健委員会講師, 2023.10.
- 24) いわき光洋高等学校, 性教育講師, 2023.10.
- 25) 横須賀教育文化研究所, 教員講演, 2023.11.
- 26) 伊豆市健康長寿課, 認知症サポーター養成講座講師, 2023.11.
- 27) 香川県立保健医療大学, 保健師研修会講師, 2023.11.
- 28) 箱根の森小学校, 学校保健委員会講師, 2023.11.
- 29) 青森県教育委員会, 中堅養護教諭研修講師, 2023.11.
- 30) 浜松市立追分小学校, 学校保健委員会講師, 2023.11.
- 31) 浜松市立城北小学校, 学校保健委員会講師, 2023.11.
- 32) 島田市立島田第一中学校, 性教育講師, 2023.12.
- 29) 横浜市立西柴中学校, 学校保健委員会講師, 2023.12.
- 30) 東洋大学, 教職実践演習非常勤講師, 2023.12.
- 31) 国際医療福祉大学, 公衆衛生看護学概論非常勤講師, 2023.12.
- 32) 日総研セミナー, 助産師研修講師, 2024.1.
- 33) 横須賀総合高等学校, 性教育講師, 2024.2.
- 34) 茨城県産業保健総合支援センター, 保健師研修講師, 2024.2.
- 35) 浜名協働センター, 子育て講演講師, 2024.2.
- 36) 横須賀市立池上中学校, 性教育講師, 2024.2.
- 37) 横須賀市立野比中学校, 性教育講師, 2024.2.
- 38) 横須賀市立公郷中学校, 性教育講師, 2024.3.
- 39) 横須賀市立長井中学校, 性教育講師, 2024.3.
- 40) 島田市立島田第一中学校, 性教育講師, 2024.3.
- 41) 島田市立六郷中学校, 性教育講師, 2024.3.
- 42) 横須賀市大楠地区, 高齢者講演会講師, 2024.3.

7 学会等での活動

- 1) Uchiyama,Y., Nakamura,F., Takahashi,S.,Kato,E., Saito,A., Shiba,Y., Arakida,M. (2023,7.19). School Health Activities of School Nurse Teachers in Japan Regarding the COVID-19 Pandemic and Their Challenges. School Nurses International

Conference 2023, Boston.

- 2) Takahashi,S., Uchiyama,Y., Nakamura,F., Kato,E., Saito,A., Shiba,Y., Arakida,M. (2023,7.19). The Role and Challenges of School Nursing Teachers on the COVID-19 Pandemic in Japan. School Nurses International Conference 2023, Boston.
- 3) 伊藤純子, 高橋佐和子. (2023,9 月 2 日). 精緻化見込みモデルを活用した思春期性教育プログラムの実施と評価. 日本地域看護学会第 26 回学術集会講演集.
- 4) 高橋佐和子, 伊藤純子. (2023,9 月 30 日). 精緻化見込みモデルを活用した思春期性教育プログラムの開発. ヘルスコミュニケーションウィーク 2023, 福島市.
http://www.healthcommunicationweek.jp/pdf/hcw2023/hcw2023_selection_list.pdf
- 5) 高橋佐和子, 中村富美子, 加藤恵美, 内山有子, 齋藤朱美, 荒木田美香子. (2023,11 月 12 日). スキルラダーWEB アンケート回答者の特徴. 日本学校保健学会第 69 回学術大会, 東京. https://web.apollon.nta.co.jp/jash69/files/jash69_program.pdf
- 6) 高橋佐和子, 伊藤純子. (2024,1 月 6-7 日). 中学生の性に関する認識と主観的規範—B 中学校の調査から. 第 12 回日本公衆衛生看護学会学術大会, 北九州市.
https://japhn12.online.yupia.net/?page=endai_52_clap

8 学内教育活動

- 1) 養護教諭採用試験対策講座, 2023.7-8.
- 2) 養護教諭 (卒業生・在校生) 交流会, 2023.7-8.
- 3) 学部
科目責任: 学校保健論 I, 学校保健論 II, 学校保健方法論, 総合演習 (養護教諭), 養護概説, 養護実習 I, 養護実習 II, 教職実践演習.
担当科目: 卒業研究, 統合実習, 地域看護学 I (1 時間).
- 4) 大学院
担当科目: 地域看護学特論 (4 時間), 地域看護学演習 (6 時間), 小児看護学特論 V (2 時間).

9 学内各種委員会活動

- 1) 全学科 FD・SD 委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 看護学科 FD・SD 委員長, 2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 学生委員会, 1 年担任リーダー, 2023.4.1～2024.3.31.
- 4) 看護学教育評価に関するワーキンググループメンバー, 2023.4.1～2024.3.31.
- 5) SNS による学科広報担当, 2023.4.1～2024.3.31.
- 6) 教職課程運営関係業務担当, 2023.4.1～2024.3.31.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 高橋佐和子代表. 性に関する自己決定スキル習得を支援する AI 活用型シミュレーション教材の開発. 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 4,420 千円, 2023～2026.
- 2) 荒木田美香子代表, 高橋佐和子研究分担. カテーテル挿入技術のための拡張現実を活用した学習支援システムの看護教育への最適化. 学術研究助成基金補助金 基盤研究(B), 8,580 千円, 2023～2026.

- 3) 伊藤純子代表，高橋佐和子研究分担．ニュータウン住民の互助を促進する地区組織・住民組織活動モデルの開発．学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)，4,420 千円，2021～2023.

田辺 けい子（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 田辺 けい子, 野口 翔平. (2023). 無痛分娩パーフェクトガイド: 助産師&産科・麻酔科専門医が教える 必須知識とアセスメント (ペリネイタルケア夏季増刊). メディカ出版. (ISBN: 4840479283)

2 学術論文

- 1) 日向俊輔, 田辺けい子. (2024). 最終回だから無謀にも「望ましい無痛分娩」を定義してみた。 無痛分娩の超ソボクなギモンに産科麻酔科医が答える 教えて！ ヒュウガ先生・6, 助産雑誌, 78(1), 98-102.
- 2) 日向俊輔, 田辺けい子. (2023). 分娩第2期に努責がかけにくくならないために、どうしたらよいのでしょうか？ 無痛分娩の超ソボクなギモンに産科麻酔科医が答える 教えて！ ヒュウガ先生・5. 助産雑誌, 77(6), 588-592.
- 3) 日向俊輔, 田辺けい子. (2023). 無痛分娩の看護マニュアルの作成担当者になって困ります（涙） 無痛分娩の超ソボクなギモンに産科麻酔科医が答える 教えて！ ヒュウガ先生・4. 助産雑誌, 77(5), 504-507.
- 4) 日向俊輔, 田辺けい子. (2023). 無痛分娩では、まったく痛みを感じないで出産することは可能なのですか？ 無痛分娩の超ソボクなギモンに産科麻酔科医が答える 教えて！ ヒュウガ先生・3. 助産雑誌, 77(4), 404-407.
- 5) 日向俊輔, 田辺けい子. (2023). 無痛分娩の麻酔は帝王切開分娩の麻酔と同じですか？ 無痛分娩の超ソボクなギモンに産科麻酔科医が答える 教えて！ ヒュウガ先生・2. 助産雑誌, 77(3), 286-290.
- 6) 日向俊輔, 田辺けい子. (2023). 麻酔科医なら誰でも無痛分娩できるの？ 無痛分娩の超ソボクなギモンに産科麻酔科医が答える 教えて！ ヒュウガ先生・1. 助産雑誌, 77(2), 178-181.
- 7) 田辺けい子. (2023). 硬膜外麻酔分娩の助産ケアと母子関係への影響. 日本周産期・新生児医学会雑誌, 58(4), 885-887.

3 その他の著作

- 1) 田辺けい子. (2023). [巻頭論文] 無痛分娩の普及と助産師の役割再考～無痛分娩は“贅沢品”なのか？～. MEDEX journal, (242), 4-5.
- 2) 田辺けい子. (2023). [巻頭論文] 無痛分娩の普及と助産師の役割再考～産む人の心と体をとことん支えるのが助産師です～. MEDEX journal, (241), 4-5.

4 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 日本産科麻酔学会 社員, 2021.12.～現在.
- 2) 日本産科麻酔学会 編集委員, 2021.12.～現在
- 3) 日本産科麻酔学会 学術委員, 2021.12.～2023.11.
- 4) 日本産科麻酔学会 広報委員, 2021.12.～現在.
- 5) 日本産科麻酔学会 広報委員, 2023.12.～現在.

- 6) 日本母性衛生学会 幹事, 2013.8.～現在.
- 7) 日本母性衛生学会 専任査読委員, 2013.8.～現在.
- 8) 日本助産学会 専任査読委員, 2019.4.～現在.
- 9) 日本母性看護学会 専任査読委員, 2010.4.～現在.
- 10) 一般社団法人日本無痛分娩研究機構 無痛分娩施設認定委員, 2024.2.～現在.
- 11) メディカ出版「ペリネイタルケア」誌 編集協力委員, 2017.4.～現在.
- 12) 日本マタニティフィットネス協会 相談役, 2024.1.～現在.
- 13) 科学研究費助成事業審査委員, 2022.10.～現在.

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス, 進路支援 (相談コーナー) 担当, 2023.8.5
- 2) ニューカッスル大学スタディツアー, 学外向け SNS 発信担当, 2023.11.
- 3) 神奈川県立大和西高等学校, 2 年生を対象とした進路ガイダンス (第 1, 2 部), 2023.6.12.
- 4) 教育機関での講義
 - ① 神奈川県立衛生看護専門学校 第一看護学科「看護研究Ⅱ (15 コマ)」非常勤講師, 2023.4.～5.
 - ② 神奈川県立衛生看護専門学校 助産師学科「無痛分娩における助産診断技術とケア (2 コマ)」非常勤講師, 2023.7.13.
 - ③ 茨城県立医療大学大学院 助産学専攻科「助産診断・技術学Ⅲ (無痛分娩の助産) (2 コマ)」非常勤講師, 2023.7.6.
 - ④ 東京慈恵会医科大学大学院 非常勤講師 母性看護学特論Ⅲ「麻酔分娩をめぐる課題と支援: 日本の現状と先進国の取り組み (2 コマ)」, 2023.10.21.
- 5) 一般社団法人 NIFT
 - ① 第 1 回ある飛ぶ無痛 Café (助産師のための無痛分娩セミナー) 企画運営, 2023.7.16.
 - ② 第 2 回ある飛ぶ無痛 Café (助産師のための無痛分娩セミナー) 企画運営, 2023.12.3.

6 講演, 放送

- 1) メディア出演および監修
 - ① 【後編】麻酔科医が足りない…無痛分娩の賛成 8 割超えなのに実施率 1 割以下のワケ, 日本テレビ, 日テレ NEWS: 社会, 9 月 24 日 インターネットメディア
 - ② 【中編】若年層にのしかかる費用負担…無痛分娩への賛成は 8 割超でも実施率 1 割以下にとどまるワケ, 日本テレビ, 日テレ NEWS: 社会, 2023.9.23. インターネットメディア
 - ③ 【前編】「お腹を痛めた子」出産の痛みへの意識はいま…無痛分娩への賛成は 8 割超でも実施率 1 割以下にとどまるワケ, 日本テレビ, 日テレ NEWS: 社会, 2023.9.23. インターネットメディア
 - ④ 【無痛分べん】8 割が“賛成”でも広がらないワケ “出産の痛み”は必要? 意識に 変化も, 日本テレビ, news zero, 2023.8.30. テレビ・ラジオ番組
- 2) 講演
 - ① 【特別講演】無痛分娩～助産の基本はすべてここにあった! ～. 第 70 回マタニティ

フィットネスコンベンション in 名古屋, 2023.10.12.

- ② ファミール産院きみつ「深読み！無痛分娩パーフェクトガイド」, 2023.7.31.
- ③ ファミール産院つだぬま 「深読み！無痛分娩パーフェクトガイド」, 2023.9.4.
- ④ 浜松医科大学医学部附属病院周産母子センター麻酔科主催セミナー「もっと知りたい無痛分娩のこと！」講師, 2023.9.16.
- ⑤ ファミール産院えどがわ「深読み！無痛分娩パーフェクトガイド」講師, 2023.9.25.
- ⑥ 株式会社 Private Midwife「無痛分求められる助産ケア」, 2023.10.4.
- ⑦ 【認定制度研修講師】日本母性衛生学会エビデンス・ベースド・プラクティショナー (JSMHEBP) 認定制度：特化専門分野「周産期メンタルヘルス分野～無痛分娩への心理的な支援 (0.5 単位)」, 2023.10.31.
- ⑧ せたがや福祉団体 @and me～nursing「いま聞いてみたい！無痛分娩のお話」妊婦、専門家、地域、情報をつなぐ【妊・フェス@世田谷】 , 2023.11.3.
- ⑨ “人間と性”教育研究協議会全国助産師サークル.「無痛分娩に求められる助産」, 2024.3.9.

3) 記事監修

- ① (株)リクルート ゼクシィ Baby 編集部『妊婦のための本』特集記事「分娩方法別出産当日の流れ・心得」, 2024.2.22.

7 学会等での活動

- 1) 田辺けい子, 石川紀子. (2023,10 月 8 日). 【交流集会】助産師にとっての無痛分娩 ～プロフェッショナルリズムは揺らがない～. 第 37 回日本助産学会学術集会抄録集(p.10), 東京.
- 2) 田辺けい子. (2023,11 月 1 日～2024,1 月 31 日). 【教育講演】無痛分娩～助産師の腕が試されるとき！～. 第 127 回日本産科麻酔学会学術集会：第 3 回日本産科麻酔学会 Web セミナー.
- 3) 田辺けい子. (2024,3 月 10 日). 【特別講演】無痛分娩に求められる助産. 第 28 回島根県母性衛生学会学術集会, 島根.
- 5) 【座長】
 - ① 一般演題 03「新生児のケア」. 第 64 回母性衛生学会学術集会. 大阪国際会議場. 2023.10.13
 - ② 第 127 回日本産科麻酔学会学術集会. 2023.12.2.
 - ③ シンポジウム 女性の分娩方法選択に関する共有意思決定支援～麻酔分娩が選択肢となるとき～. 第 49 回全国助産師教育協議会全国研修会. 2024.2.24.
- 6) 【シンポジスト】
 - ① 女性の分娩方法選択に関する共有意思決定支援ができる助産師を育てるために. 第 49 回全国助産師教育協議会全国研修会. 2024.2.24～3.10.
 - ② 【シンポジウム】これからの妊産婦のニーズにどう応えるか -和痛分娩を中心に-. 第 28 回島根県母性衛生学会学術集会. 2024.3.10.
- 7) 【指名コメンテーター】
 - ① ポスターセッション 8. 助産師教育 (4 題). 第 127 回日本産科麻酔学会学術集会. 2023.12.2.

8) 【査読（学術論文）】

- ① 母性衛生学会 学会誌（原著論文 3 編：5 月、8 月、1 月）
- ② 母性看護学会 学会誌（原著論文 2 編：5 月、10 月）
- ③ 日本助産学会 学会誌（原著論文 2 編：5 月、12 月）
- ④ 日本産科麻酔学会 学会誌（推薦論文 1 編：6 月）（一原著論文 1 編：3 月）
- ⑤ 神奈川県立保健福祉大学 大学誌（原著論文 1 編：9 月）

9) 【査読（学会発表用抄録）】

- ① 第 64 回母性衛生学会学術集会（5 編：5 月）
- ② 第 27 回母性看護学会学術集会（2 編：2 月）

8 学内教育活動

1) 担当科目

＊3年生次科目 リプロダクティブ・ヘルスケア実習（科目責任者）

＊4年生次科目 助産診断技術学Ⅱ

助産診断技術学Ⅳ（科目責任者）

ウィメンズヘルスケア（科目責任者）

助産学実習

臨床看護応用演習

統合実習

卒業研究

9 学内各種委員会活動

- 1) 【大学】図書委員長，2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 【研究科】看護領域研究科委員，2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 【看護学科】看護学教育評価に関するワーキンググループ，2023.4.1～2024.3.31.
- 4) 【看護学科】広報委員会 SNS による学科広報担当，2023.4.1～2024.3.31
- 5) 【看護学科】ヒューマンサービスセンター国際協働部門学科国際協働担当，2023.4.1～2024.3.31.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 田邊けい子．無痛分娩の助産教育プログラム開発：助産技術の高度化とチーム医療の実現．日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)，2023.4.～2027.3.
- 2) 田邊けい子．フランスにおける助産実践の探求．笹川日仏財団 2024 年前期助成金，600 千円，2024.1.～2024.6.

14 その他

1) 海外研修

- ① フランス産科病院における助産現場の視察調査～無痛分娩の実践と課題～，笹川日仏財団助成，2024.3.16～2024.4.6.

土井 英子（大学院保健福祉学研究科兼務）

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本がん看護学会 専任査読者，2023.4.～
- 2) 日本がん看護学会 選挙管理委員会，2024.1～

8 学内教育活動

- 1) 学部
成人看護学（急性期）Ⅱ，成人看護学（急性期）実習，災害看護論，看護応用ゼミナール，統合実習，卒業研究.
- 2) 大学院
がん看護学演習Ⅲ，がん看護学実習Ⅱ・Ⅲ，課題研究，博士前期課程 1 名補助指導教員.

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科学生委員会 3 年クラス担任，2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 看護学科学生委員会 進路支援担当，2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 看護学科設備・備品担当委員会 委員長，2023.4.1～2024.3.31.
- 4) 看護学科看護学教育評価に関するワーキンググループ，2023.4.1～2024.3.31.
- 5) 看護領域研究科委員会，2023.4.1～2024.3.31.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 土井英子研究代表者，野村美香，小林珠実，大場美穂. 視覚化デバイスを用いた化学放射線療法に伴う口腔粘膜炎へのセルフマネジメント支援. 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)，910 千円，2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 大場美穂研究代表者，真田弘美，野村美香，大江真琴，峰松健夫，竹原君江，小林珠実，土井英子. 透析患者に対するテーラーメイドケアを目指した非侵襲的な皮膚生理機能評価方法の開発. 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)，910 千円，2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 野村美香，土井英子，大場美穂. がん検診の受診を支援するリスクコミュニケーショントレーニングプログラムの開発. 学術研究助成基金助成金基盤研究(C)，2023.4.1～2027.3.31.

中山 直子（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 中山直子, 神崎由紀, 大河内彩子, 斉藤恵美子, 矢島正榮, 荒木田美香子, 臺 有桂, 村嶋幸代. (2023). 保健師教育の評価に関する会員校意向調査. 保健師教育, 7(1), 39-45.
- 2) 林直子, 高橋奈津子, 鈴木久美, 中山直子, 府川晃子. (2023). 女性乳がん患者の妊孕性温存に関する意思決定支援の現状と課題-患者と医療者のインタビュー調査から-. 保健の科学, 65(12), 809-813.

3 その他の著作

- 1) 中山直子. (2023). 医療情報科学研究所 (編), クエスチョン・バンク別冊 第 113 回看護師国家試験問題解説 2023 第 24 版. メディックメディア.
- 2) 中山直子. (2023). 岡庭 豊 (編), 看護師・看護学生のためのレビューブック 2023 第 25 版(pp.在 20-25). メディックメディア.
- 3) 林 直子, 中山直子, 平田美佳, 竹之内直子 (編集・執筆). (2023). AYA 世代にある小児がんサバイバーへの継続的な支援のために-血液がんに焦点をあてて-. 令和 5 年度科学研究費助成事業 (基盤 B) 教育教材として.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本健康教育学会 代議員, 2018.6.～
- 2) 多摩ニュータウン学会 評議員, 2012.6.～
- 3) NPO 法人ハンディキャブゆづり葉 理事, 2022.6.～
- 4) 横須賀市健康増進横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部会 委員, 2022.6.～
- 5) NPO 法人プラン B 監事, 2023.1.～
- 6) 日本公衆衛生看護学会 査読委員, 2023.6.～
- 7) 日本公衆衛生学会 代議員, 2023.7.～

5 社会貢献

- 1) NPO 法人ハンディキャブゆづり葉 セルフケア支援, 2021.6.～
- 2) 全国保健師教育機関協議会 教育評価準備委員会委員, 2021.7.～
- 3) 石心会川崎幸病院看護部 看護研究支援, 2022.7.～
- 4) 神奈川県保健師の仕事説明会 (県庁健康増進課・幹事校として担当), 2023.8.
- 5) オープンキャンパス, 2023.8.5.
- 6) 川崎市立川崎高等学校 系統・分野別説明会, 2023.10.10.
- 7) うみかぜ祭 まちの保健室, 2023.11.5.
- 8) 神奈川県保健師合同就職説明会 (県庁健康増進課・幹事校として担当), 2024.3.

6 講演, 放送

- 1) 川崎市保健師新任研修 講師, 2023.12.5.

7 学会等での活動

- 1) Kong Fanlei, Nakayama Naoko, Wang Jieru, Chen Rui, Liu Hui, Xu Xixing, Zhao Bo, Nam Eun Woo, Hoshi Tanji. (2023,6,12). The mediation effect of social support on the association between socioeconomic status and oral health among migrant elderly following children in China. IAGG-AOR2023 Book of Abstract(p.245),Yokohama.
- 2) Pang Mingli, Nakayama Naoko, Wang Jieru, Chen Rui, Liu Hui, Xu Xixing, Zhao Bo, Nam Eun Woo, Hoshi Tanji, Kong Fanlei. (2023,6,12). Does the sex of co-residing children affect the medical returns of migrant elderly following children? Evidence from a cross-sectional study in China. IAGG-AOR2023 Book of Abstract (p.381),Yokohama.
- 3) Liu Guangwen, Nakayama Naoko, Wang Jieru, Pang Mingli, Zhao Bo, Li Zhen, Hoshi Tanji, Nam Eun Woo, Li Shixue, Kong Fanlei. (2023,6,12). Association between Smartphone Usage, Family Support and Loneliness among the Migrant Elderly Following Children in Jinan, China: A Cross-sectional Study. IAGG-AOR2023 Book of Abstract(p.432),Yokohama.
- 4) Wang Jieru, Nakayama Naoko, Pang Mingli, Chen Rui, Liu Hui, Xu Xixing, Zhao Bo, Nam En Woo, Hoshi Tanji, Kong Fanlei. (2023,6,12). The Effects of Oral Health and Sleep Disturbance on Health-related Quality of Life of Migrant Elderly Following Children in Weifang, China. IAGG-AOR2023 Book of Abstract(p.793), Yokohama.
- 5) Zhao Bo, Pang Mingli, Wang Jieru, Kong Fanlei, Park Myung, Hoshi Tanji, Nakayama Naoko, Nam Eun Woo.(2023,6,12). Priorities of Dementia Response and Actions in South Korea and China: focused on SWOT-PESTLE-AHP Model. IAGG-AOR2023 Book of Abstract”(p.833),Yokohama.
- 6) 赤堀八重子, 齋藤 基, 中山直子. (2023,12 月 9 日). 特定保健指導における利用阻害要因の因子間の関連. 第 43 回日本看護科学学会講演集, 山口.
- 7) 中山直子, 蓮井貴子, 赤堀八重子, 高本佳代子, 佐藤美樹. (2024,1 月 7 日). 統計のアレルギーをなくそう! エビデンスに基づく保健活動!. 第 12 回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集(p.145), 福岡.
- 8) 赤堀八重子, 齋藤 基, 中山直子, 倉林しのぶ, 坪井りえ, 武居明美, 関根恵理香. (2024,1 月 7 日). A 市における特定保健指導の利用阻害要因の関連と構造. 第 12 回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集(p.163), 福岡.
- 9) 蓮井貴子, 中山直子. (2024, 1 月 7 日). アドバンス・ケア・プランニングの普及のための地域住民への動機づけとその評価のナラティブ・レビュー. 第 12 回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集(p.191), 福岡.

8 学内教育活動

- 1) 学部
地域看護学Ⅱ, 地域看護学実習, 公衆衛生看護学演習Ⅰ・Ⅱ, 公衆衛生看護学実習, 公衆衛生看護活動論, 産業保健論Ⅰ・Ⅱ, 在宅看護学実習, 統合実習, 卒業研究.
- 2) 大学院
地域看護学特論, 地域看護学演習.

9 学内各種委員会活動

- 1) 衛生委員会, 2021.8.～
- 2) 看護領域研究科委員会, 2021.10.～
- 3) 学科学生委員会, 4 年次クラス担任, 2022.4～2024.3.
- 4) JABNE 看護教育評価ワーキングメンバー, 2022.12.～

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 林 直子 (研究代表者), 小林京子, 鈴木久美, 森 明子, 中山直子. AYA 世代にある小児がんサバイバーの移行期ケアを支える看護者育成プログラムの開発. 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 2017.4.1～2024.3.31.
- 2) 高橋奈津子 (研究代表者), 佐藤幹代, 中山直子, 米田昭子. 看護基礎教育における糖尿病の【語り】をいかしたセルフマネジメント支援教材の開発. 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 2019.4.1～2024.3.31.

12 受賞

- 1) 八王子市より行政功労にて表彰; 学校運営協議会委員 市制施行記念日式典 いちようホール, 2023.10.1.
- 2) 奨励賞, 日本看護科学学会, 2023.12.9.
Sakiko Aso, Naoko Hayashi, Go Sekimoto, Naoko Nakayama, Keiko Tamura, Chieko Yamamoto, Maho Aoyama, Tatsuya Morita, Yoshiyuki Kizawa, Satoru Tsuneto, Yasuo Shima, Mitsunori Miyashita, Association between temporary discharge from the inpatient palliative care unit and achievement of good death in end-of-life cancer patients: A nationwide survey of bereaved family members

14 その他

- 1) 保健医療データ活用のための SPSS&Amos 実践研究会 代表, 2011.4.～

松坂 由香里（大学院保健福祉学研究科兼務）

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 神奈川県看護協会保健師職能委員会 委員（1回/月 委員会活動），2019.7.～
- 2) 日本家族看護学会専任査読委員，2021.4.1～
- 3) 日本家族看護学会第 29 回学術集会査読者，2023.4.～2023.5.
- 4) 日本家族看護学会評議員，2022.5.～

5 社会貢献

- 1) 神奈川県看護協会の保健師職能委員として，講演会・研修会(年 3 回)の企画・準備および運営，保健師活動・就職イベントを行った．2019.7.～

8 学内教育活動

- 1) 学部（担当科目）
卒業研究，在宅看護学実習．
- 2) 大学院（担当科目）
精神保健看護学特論．

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科オープンキャンパス委員，2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 看護学科 FD 委員，2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 看護領域研究科委員会，2023.4.1～2024.3.31.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 松坂由香里研究代表者．行政保健師の家族支援実践力を高める教育プログラムの開発．
2020 年度～2023 年度 学術研究助成基金助成金 基盤研究 C，3640 千円，2020.4.1.～
2024.3.

西名 諒平（大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 西名諒平. (2023). 入院している子どもの「きょうだい」を支援する. 日本看護協会出版会.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) ヒューマンサービス学会編集委員会，委員，2023.5.15～2024.3.31
- 2) ヒューマンサービス学会編集委員会，事務局，2023.6.1～2024.3.31

5 社会貢献

- 1) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 博士前期課程「質的研究法」非常勤講師，2023.4.1～2023.9.30.
- 2) ヒューマンサービス公開講座 企画運営，2023.5.13, 2023.10.28.
- 3) 金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 老年リハビリテーション・精神看護学 特別講義講師「グラウンデッド・セオリー・アプローチという研究法」，2023.7.29.
- 4) 新見公立大学 健康科学研究科 研究セミナー「グラウンデッド・セオリー・アプローチ分析ワークショップ」 講師，2023.10.7.
- 5) 神奈川県立こども医療センター エキスパートナースコース 研究支援，2023.10.19, 2023.11.6, 2024.2.6.
- 6) Khon Kaen University とのオンラインカンファレンスの企画運営補助，2023.9.6, 2024.1.31.

8 学内教育活動

- 1) 学部
小児看護学Ⅰ，小児看護学Ⅱ，小児看護学実習，統合実習（小児看護学領域），卒業研究，国際看護交流演習。（2025 開講準備）
- 2) 大学院
病態生理学，研究法Ⅱ，小児看護学演習Ⅰ，小児看護学演習Ⅱ，小児看護学特論Ⅱ，小児看護学特論Ⅲ，小児看護学特論Ⅳ.

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習委員会，委員長，2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 看護学科教務委員会，委員，2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 看護教育評価ワーキンググループ，2023.4.1～2024.3.31.
- 4) 地域貢献研究センター 地域貢献部門，委員，2023.4.1～2024.3.31.
- 5) Khon Kaen University との交流活動ワーキンググループ，2023.4.1～2024.3.31.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 西名諒平（研究代表者）．入院児のきょうだいへの一時預かり支援の確立に向けた質的研究による支援方法の検討．学術研究助成基金助成金 若手研究，2470 千円，2023.4.1～2028.3.31.

吉田 安子（大学院保健福祉学研究科兼務）

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本母性看護学会誌専任査読委員，2017.6.～
- 2) 高知女子大学看護学会誌査読委員，2018.3.～
- 3) 第 26 回日本母性看護学会一般演題査読委員，2024.2.～2024.3.

5 社会貢献

- 1) 令和 5 年度スーパーサイエンスハイスクール事業，Principia II 講師，2023.6.～2024.3.
- 2) 横須賀市立大津中学校，1 年生「2023 年度性教育講演会」講師，2023.6.30.
- 3) 横須賀市立大津中学校，2 年生「2023 年度性教育講演会」講師，2023.7.7.
- 4) 国際医療福祉大学，「リプロダクティブヘルス看護学概論」，非常勤講師，2023.10.18.
- 5) 令和 5 年度，ヒューマンサービス公開講座「生きることを学ぶ」，講師，
「知っておこう『生命（いのち）の安全教育』」，2023.10.28.

7 学会等での活動

- 1) 大久保美保，吉田安子，谷口千絵. (2023,10 月 8 日). 看護職ボランティア団体が主催した自治体と共同開催した妊婦と看護職等と「繋ぐ」マタニティイベントの開催報告ーコロナ禍にある妊婦に関連した社会問題の解決のためにー. 第 37 回日本助産学会学術集会，オンライン開催.

8 学内教育活動

1) 学部

2 年次科目	リプロダクティブ・ヘルスケア I
3 年次科目	リプロダクティブ・ヘルスケア実習
4 年次科目	助産診断技術学Ⅲ（科目責任者） 助産管理論 I（科目責任者） 助産管理論 II（科目責任者） ウィメンズヘルスケア 助産学実習 統合実習 卒業研究 看護応用ゼミナール

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科教務委員会，カリキュラム評価担当，2023.4.1.～2024.3.31.
- 2) 20 周年記念事業企画ワーキンググループ，記念誌作成チーム，2022.4.～2023.11.30.
- 3) 倫理審査委員（副委員長），2023.4.1.～2024.3.31.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 杵淵恵美子研究代表，吉田安子研究分担者. 妊娠中絶に対するアンチスティグマへの取

り組みに関する研究. 平成 30 年～令和 5 年学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 3,400 千円, 2018.6.～2024.3.

- 2) 吉田安子研究代表. LGBTQs の健康課題に関する看護教育プログラムの開発. 令和 4 年～学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 3,000 千円, 2022.4.～

安藤 里恵（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 奥井 良子, 白水 真理子, 安藤 里恵, 中原 慎二. (2024). タイ国コンケン県における糖尿病に関するケアの現状-3次医療および2次医療レベル病院, プライマリーケアセンター視察報告-. 姫路大学大学院看護学研究科論究, 7, 57-65

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本糖尿病教育・看護学会編集委員会, 専任査読者, 2022.10.1～
- 2) 第28回日本看護研究学会東海地方会, 企画委員, 2023.4.18～2024.3.9.
- 3) 第17回日本慢性看護学会学術集会, 実行委員, 2023.9.2～9.3.
- 4) ヒューマンサービス学会第2回学術集会, 企画委員, 2024.1.18～12.25.

5 社会貢献

- 1) 湘南学院高等学校, 系統別説明会, 講師, 2023.6.30.
- 2) オープンキャンパス, 看護学科実習室展示コーナー担当, 2023.8.7.
- 3) タイのコンケン大学との共同カンファレンスにおいて, 主催者の一員として企画及び当日の運営に関わった, 2023.9.6, 2024.1.31.

6 講演, 放送

- 1) 第18回宮城県糖尿病看護研究会, 働き盛りの糖尿病患者に対する治療中断予防のケア, 講師, 2023.6.4.
- 2) 第7回栃木県糖尿病看護実践能力開発セミナー, 東日本大震災の経験から考える糖尿病患者のための災害対策支援, 講師, 2023.6.25.
- 3) 第17回東北糖尿病スタッフ教育セミナー, 治療を自己中断した糖尿病患者の体験, 講師, 2024.2.4.

7 学会等での活動

- 1) 安藤里恵, 白水真理子. (2023,12月9日). 病棟実習経験が少ない学生が自ら事例を作成し看護過程を行うことによる学び - 成人看護学(慢性期)実習での試みより - (示説発表). 第43回日本看護科学学会学術集会, 山口.
- 2) 一般演題 口演1 座長. 日本看護研究学会第28回東海地方会抄録集, 4.

8 学内教育活動

- 1) 学部
成人看護学(慢性期)Ⅰ, 成人看護学(慢性期)Ⅱ, 成人看護学(慢性期)実習, 統合実習, 卒業研究, 臨床看護応用演習, 問題に基づく学習法 (Problem-based Learning) におけるテューター.

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習委員会, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 看護学科学生委員会, 4年生担任, 2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 看護師国家試験対策委員会, 委員長, 2023.4.1～2024.3.31.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 安藤 里恵 研究代表者, 白水 真理子, 奥井 良子, 間瀬 由記, 中原 慎二. 成人期にある2型糖尿病患者のための受診中断予防看護モデルと療養支援ツールの開発. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 4991 千円, 2023.4.1～
- 2) 高橋 奈津子 研究代表者, 中山 直子, 佐藤 幹代, 米田 昭子研究分担者, 安藤 里恵 研究協力者. 看護基礎教育における糖尿病の語りをいかしたセルフマネジメント支援教材の開発. 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 4420 千円, 2019.4.1～2024.3.31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 高山 千春 研究代表者, 高橋 奈津子, 安藤 里恵. 慢性疾患との共生を支えるナラティブをいかしたセルフマネジメント支援教材の開発と評価. 学内研究助成 B, 332 千円, 2023.5.23.～2024.3.31.

佐々木 杏子（大学院 看護福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森 朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川 学, 高橋恭子, 水戸優子. (2023). 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. 保健医療福祉連携, 17(1), 2-13.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護技術学会研究活動推進委員会委員, 2018.4.～
- 2) 看護人間工学会, 評議員, 2021.4.～

5 社会貢献

- 1) 出張講義, 神奈川県立津久井高等学校 分野説明出張講義, 2023.4.10.
- 2) 看護学科 オープンキャンパス看護学科企画担当, 2023.8.5.

7 学会等での活動

- 1) 水戸優子, 森朱輝, 長島俊輔, 佐々木杏子, 渡邊恵, 加藤木真史, 荻原典子. (2023,10月14日). 看護初学者の看護技術トレーニングシステムの開発と効果 AR 法と手順書法との比較. 日本看護技術学会第 21 回学術集会抄録集(pp.56), 熊本.
- 2) 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森 朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川 学, 高橋恭子, 水戸優子. (2023,11月5日). 多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果: パイロットスタディ. 第 1 回ヒューマンサービス学会学術集会, 神奈川.

8 学内教育活動

- 1) 学部
ヘルスアセスメント論, 看護技術論Ⅰ, 看護技術論Ⅱ, 看護技術論Ⅲ, 基礎看護学実習Ⅰ, 基礎看護学実習Ⅱ, 基礎看護学実習Ⅲ, 統合実習, 卒業研究.
- 2) 実践教育センター
現象の概念化Ⅱ「文献検索」「研究論文のクリティーク」「論文の書き方」

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科教務委員会, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 看護学科時間割編成ワーキング, 2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 看護学教育評価に関するワーキンググループ, 2023.4.1～2024.3.31.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 佐々木杏子代表者, 大久保暢子. 革新的看護技術が医療現場に実装されるための因子の特定とその構造. 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 520 千円, 2023.4.1～2024.3.31.

- 2) 桑本暢子代表者，佐々木杏子，南川貴子，百田武司，武田保江．重度脳卒中患者に対する家族参加型背面開放座位ケアプログラムの構築と評価．科学研究費補助金 基盤研究(B)，2080 千円，2023.4.1～2024.3.31.

末田 千恵（大学院保健福祉学研究科兼務）

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 狛江市介護保険推進市民協議会委員，2003.12.～
- 2) 狛江市高齢小委員会委員，2015.11.～
- 3) 大磯町高齢者福祉計画策定委員会委員，2017.4.～
- 4) 藤沢市介護認定審査会委員，2017.4.～

5 社会貢献

- 1) 2023 年度教員・教育担当者養成課程看護コース看護教育課程論（在宅看護論），実践教育センター，2023.7.4.
- 2) オープンキャンパス，2023.8.5.

6 講演，放送

- 1) ずしファミリー・サポート・センター支援会員研修会，講師，2023.5.31，2023.10.30.
- 2) 三浦市ファミリー・サポート・センター研修会，講師，2023.11.14.
- 3) 模擬授業，神奈川県横浜市立東高等学校，「これからの看護ー在宅看護の時代ー」，2023.11.20.

7 学会等での活動

- 1) 山下真裕子，末田千恵，川添美花．（2023,12 月 9-10 日）．支援者が認識する精神障害者雇用の促進および継続に有効な要素 ～ソーシャルインクルージョンを目指して～．第 43 回日本看護科学学会学術集会抄録集，山口県．

8 学内教育活動

- 1) 学部
在宅看護学，在宅看護学実習，統合実習，卒業研究．
- 2) 大学院
地域看護学特論，がん看護学特論．

9 学内各種委員会活動

- 1) 学科教務委員会，2023.4.～2024.3.
- 2) 広報委員会，2022.4.～2024.3.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 末田千恵（研究代表者），黒河内仙奈，河原智江．在宅看取り支援におけるケアマネジャーの自己評価尺度とスキルアップ支援ツールの開発．学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)，3100 千円，2022.4.～2025.3.
- 2) 黒河内仙奈（研究代表者），岸川学，池田公平，長島俊輔，田中和美，樋口良子，福岡梨紗，渡邊恵，末田千恵．地域特性を反映した領域横断型学習教材の洗練と予備的導入．研究助成 A，430,240 円，2023.5.23～2024.3.31.

長島 俊輔（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 渡邊 恵, 長島 俊輔, 玉川 淳, 志村 華絵, 加藤木 真史, 佐々木 杏子, 森 朱輝, 藤田 峰子, 長山 洋史, 池田 公平, 五味 郁子, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 岸川 学, 高橋 恭子, 水戸 優子. (2023). 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. *保健医療福祉連携*, 17(1), 2-13.
- 2) 渡邊 恵, 長島 俊輔, 水戸 優子. (2023). 多職種連携教育における「模擬電子カルテ」活用の意義および導入戦略と課題：スコーピングレビュー. *ヒューマンサービス学会誌*, 1, 18-27.

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本看護技術学会 研究活動推進委員会, 委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 日本看護技術学会, 日本看護技術学会誌 専任査読委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 日本看護研究学会, 東海地方会第 28 回学術集会企画委員, 2023.4.1～2024.3.31.

5 社会貢献

- 1) 「ジョブボン」プロジェクト
一般社団法人ワーキングバリアフリーが運営する「ジョブボン」プロジェクトの大学窓口を担当した。障がい者の雇用支援として、不要になった書籍の回収をよびかけ、学内に回収用のブックポストを設置した。2023.4.1～2024.3.31.

6 講演，放送

- 1) 講演, 「睡眠のしくみと睡眠を整える生活」, 横浜市金沢区能見台五丁目町内会 交流会, 2024.2.3.

7 学会等での活動

- 1) 渡邊 恵, 長島 俊輔, 玉川 淳, 志村 華絵, 加藤木 真史, 佐々木 杏子, 森 朱輝, 藤田 峰子, 長山 洋史, 池田 公平, 五味 郁子, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 岸川 学, 高橋 恭子, 水戸 優子. (2023, 11 月 5 日). 多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果：パイロットスタディ. 第 1 回ヒューマンサービス学会学術集会講演抄録集 (pp.15-16), 神奈川県.
- 2) 水戸 優子, 間瀬 由記, 宮芝 智子, 長島 俊輔, 星 美鈴. (2023, 8 月 26 日). 看護基礎教育における ICT 教育環境の実態と課題. 日本看護学教育学会第 33 回学術集会, 交流セッション 21. 福岡.
- 3) 小池 祥太郎, 佐々木 新介, 長島 俊輔. (2023, 10 月 15 日). 研究活動推進委員会企画第 5 回若手の会若手研究者交流の場～若手研究者の悩みを共有できるカフェテリアによるこそ～. 日本看護技術学会第 21 回学術集会, 交流セッション 14. 熊本.
- 4) 長島 俊輔, 間瀬 由記, 宮芝 智子, 星 美鈴, 水戸 優子. (2023, 12 月 9 日). 看護基礎教育における ICT 活用の遠隔授業とシステム整備の実態—その 1：看護専門学校と大学の

比較. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, P3-1. 山口.

- 5) 間瀬 由記, 宮芝 智子, 長島 俊輔, 星 美鈴, 水戸 優子. (2023, 12 月 9 日). 看護基礎教育における ICT 活用の遠隔授業とシステム整備の実態—その 2 : 整備上の取り組み・苦慮・工夫. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, P3-2. 山口.
- 6) 宮芝 智子, 間瀬 由記, 長島 俊輔, 星 美鈴, 水戸 優子. (2023, 12 月 9 日). 看護基礎教育における ICT 活用の遠隔授業とシステム整備の実態—その 3 : 遠隔授業の導入及び継続の課題. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, P3-3. 山口.
- 7) 森 朱輝, 長島 俊輔, 青盛 真紀, 土田 陽子, 水戸 優子. (2023, 9 月 16 日). AR (Augmented Reality : 拡張現実) を用いた標準予防策および手指衛生技術トレーニングプログラムの開発. 第 5 回看護人間工学会学術集会, 一般演題. 愛知.
- 8) 渡邊 恵, 長島 俊輔, 水戸 優子. (2023, 11 月 26 日). IPE における「模擬電子カルテ」活用の意義および導入戦略と課題 : スコーピングレビュー. 第 16 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, P-33. 愛知.
- 9) 黒河内 仙奈, 長島 俊輔, 渡邊 恵, 末田 千恵, 岸川 学, 池田 公平, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 田中 和美. (2023, 8 月 8 日). 地域特性を反映した領域横断型学習教材の開発. 2023 年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会, 演題 4. 神奈川.
- 10) シンポジウム「看護技術の研究・実践・教育の循環」座長. 日本看護研究学会 東海地方会第 28 回学術集会. オンライン.

8 学内教育活動

1) 学部

看護技術論Ⅰ, 看護技術論Ⅱ, 看護技術論Ⅲ (看護過程), ヘルスアセスメント論, 看護応用ゼミナール, ヒューマンサービス総合演習, 基礎看護学実習Ⅰ, 基礎看護学実習Ⅱ, 基礎看護学実習Ⅲ, 統合実習, 卒業研究, 国際看護交流演習, Academic Writing.

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習委員会, 委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 看護学教育評価に関するワーキンググループ, メンバー, 2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 看護学科 1 年生クラス担任, 2023.4.1～2024.3.31.
- 4) 学内実習ステーションワーキング, メンバー, 2023.4.1～2024.3.31.
- 5) 看護学科うみかぜ祭係, 担当, 2023.4.1～2024.3.31.
- 6) 神奈川県立保健福祉大学大学誌, 査読委員, 2023.9.11～2023.9.26.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 長島 俊輔 (研究代表者). 視覚と聴覚による新しい点滴流量調整方法の検証と開発. 令和 5 年度科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 若手研究, 3,900 千円, 2023.4.～2026.3.
- 2) 加藤木 真史 (研究代表者), 加藤 京里, 栗田 愛, 菅原 啓太, 長島 俊輔. 2 週間の排便日誌から排便パターンを分類する新しい看護アセスメント方法の確立. 令和 4 年度科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 4,030 千円, 2022.4.1～2026.3.31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 黒河内 仙奈（研究代表者），岸川 学，池田 公平，長島 俊輔，田中 和美，樋口 良子，福岡 梨紗，渡邊 恵，末田 千恵. 地域特性を反映した領域横断型学習教材の洗練と予備的導入. 研究助成 A, 430,240 円, 2023.5.23～2024.3.31.

14 その他

- 1) 北里大学 看護学部「疫学」非常勤講師, 2023.4.1～2023.9.30.

森本 淳子（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 森本淳子, 榊恵子. (2023). COVID-19 感染症流行下における精神障害のある母親への支援と今後の課題ー行政保健師を対象とした調査からー. 日本精神保健看護学会誌, 32(1), 67-73.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護研究学会, 第 28 回東海地方会学術集会編集委員, 2023.8.～
- 2) 日本家族看護学会, 第 31 回学術集会実行委員, 2023.1.～

5 社会貢献

- 1) 神奈川県看護師等養成機関連絡協議会支部メンバー, 2023.4.～2024.3.
- 2) メンタルヘルス不調を抱える母親のためのサポートグループ: ほっとひといきひろば企画者, 通年

6 講演, 放送

- 1) 神奈川県立精神医療センターステップⅣ看護研究研修研究指導及び発表会講評, 講師. 2023.5.23. 2023.10.17. 2023.12.26.

7 学会等での活動

- 1) 大河内敦子, 森本淳子. (2023,5 月 13 日). ワークショップ「若手教員がつながる場を創る! ワールド・カフェ第 2 弾ー看護師として多様な背景を持ちながら教員になっていく私たち-」. 日本精神保健看護学会第 33 回学術集会, 神戸.

8 学内教育活動

- 1) 学部
心のしくみ, 精神保健看護学Ⅰ, 精神看護学Ⅱ, 統合実習, 精神看護学実習, 卒業研究, 保健医療福祉論.
- 2) 大学院
博士前期課程: 精神保健看護学特論

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科教務委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 看護学科オープンキャンパス委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 看護学科設備備品委員, 2023.4.1～2024.3.31.
- 4) 入学式卒業式担当, 2023.4.1～2024.3.31.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 榊恵子研究代表者, 水野高昌, 栄セツコ, 吉田光爾, 大河内敦子, 細谷陽, 田中有紀, 森本淳子. COVID-19 感染拡大下での精神障害者のための地域多職種連携支援モデルの開発. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 3,250 千円, 2022.4.～2025.3.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 森本淳子研究代表者：メンタルヘルス不調を抱える母親の子育てに関する語りの研究－当事者の集うグループ「ひろば」の参加者が語る体験について－. 令和 5 年度神奈川県立保健福祉大学研究助成 B（奨励研究），229,072 円，2023.5.1～2024.3.31.

渡邊 恵 (大学院保健福祉学研究科兼務)

2 学術論文

- 1) 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森 朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川 学, 高橋恭子, 水戸優子. (2023). 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. 保健医療福祉連携, 17(1), 2-13.
- 2) 渡邊 恵, 長島俊輔, 水戸優子. (2023). 多職種連携教育における「模擬電子カルテ」活用の意義および導入戦略と課題: スコーピングレビュー. ヒューマンサービス学会誌 2023, (1), 18-27.

5 社会貢献

- 1) 神奈川県立二俣川看護福祉高等学校 出張講義 1～2年生向け模擬授業「看護師と医療安全」, 2023.6.2.
- 2) 神奈川県立保健福祉大学看護学科オープンキャンパス, 手洗い体験コーナー, 2023.8.6.

7 学会等での活動

- 1) 水戸優子, 森朱輝, 長島俊輔, 佐々木杏子, 渡邊恵, 加藤木真史, 荻原典子. (2023,10月14-15日). 看護初学者の看護技術トレーニングシステムの開発と効果—AR法と手順書法との比較—. 日本看護技術学会第21回学術集会抄録集(p.56), 熊本県.
- 2) 渡邊 恵, 長島 俊輔, 玉川 淳, 志村 華絵, 加藤木 真史, 佐々木 杏子, 森 朱輝, 藤田 峰子, 長山 洋史, 池田 公平, 五味 郁子, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 岸川 学, 高橋 恭子, 水戸 優子. (2023,11月5日). 多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果: パイロットスタディ. 第1回ヒューマンサービス学会学術集会講演抄録集(pp.15-16), 神奈川県.
- 3) 渡邊 恵, 長島俊輔. (2023,11月26日). IPEにおける「模擬電子カルテ」活用の意義および導入戦略と課題: スコーピングレビュー. 第16回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会抄録集(p.56), 愛知県.
- 4) 渡邊 恵. (2023). 時代の変遷に伴う「基礎看護」の追求—看護技術教育のパラダイムシフトを目指して—. シンポジウム 看護技術の研究・実践・教育の循環 シンポジスト. 日本看護研究学会第28回東海地方会学術集会抄録集, 13.

8 学内教育活動

- 1) ヘルスアセスメント論, 看護技術論Ⅰ, 看護技術論Ⅱ, 看護技術論Ⅲ, 基礎看護学実習Ⅰ, 基礎看護学実習Ⅱ, 基礎看護学実習Ⅲ, 統合実習, 卒業研究, ヒューマンサービス総合演習.
- 2) チアリーダーイングサークル「A-wins」顧問.

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科学生委員, 通年.

- 2) 1 年次生クラス担任，通年.
- 3) 看護学科 SNS 運用担当，通年.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 飯岡由紀子研究代表者，杉本知子，辻 恵子，中澤良子，渡邊 恵，西村宣子，廣田千穂，小倉泰憲，関谷大輝．チームの納得を促進するための看護師のコーディネート力向上プログラム開発と評価．科学研究費補助金 基盤研究(B)，8,060 千円，2019.4.1 ～ 2024.3.31.
- 2) 黒河内仙奈研究代表者，岸川学，池田公平，長島俊輔，田中和美，樋口良子，福岡梨紗，渡邊恵，末田千恵．地域特性を反映した領域横断型学習教材の洗練と予備的導入．令和 5 年度学内研究助成 A，430 千円，2023.5.23～2024.3.31.

後藤 雅子

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス、展示・演習体験コーナー吸引体験担当, 2023.8.6.
- 2) 社会福祉法人みなと舎, 重症心身障害児への看護支援・研究支援, 神奈川県横須賀市, 毎月 1～4 回.
- 3) 国際労働衛生委員会合同会議-労働組織と心理社会的要因&アジア太平洋心理社会的要因アカデミー2023 (ICOH-WOPS と APA-PFAW 2023 の合同会議), 東京都千代田区 運営ボランティア, 2023.9.21-22.

7 学会等での活動

- 1) 後藤雅子, 李剣, 岡澄子. (2023). 在宅での重症心身障害児にかかわる訪問看護師のリソースに関する研究. 日本重症心身障害学会誌, 48(2), 247.

8 学内教育活動

- 1) 在宅看護学および在宅看護学演習, 前期.
- 2) 統合実習 (在宅看護学および養護教諭課程), 前期.
- 3) 卒業研究指導, 通年.
- 4) 在宅看護学実習, 後期.

9 学内各種委員会活動

- 1) 学科実習委員会, 通年.
- 2) 学科学生委員会 1 年クラス担任, 通年.
- 3) 研究委員会 動物実験専門部会, 通年.
- 4) チューター担当, 通年.
- 5) 看護学科親睦会担当, 通年.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 後藤雅子. 在宅での重症心身障がい児にかかわる訪問看護師のリソースに関する研究—訪問看護師の成長過程を支えるプログラム構築に向けた調査—. 公益財団法人在宅医療助成優美記念財団 2021 年度後期一般公募「在宅医療研究への助成」, 395,884 円, 2022.2.1～2023.9.30.

鈴木 翼

2 学術論文

- 1) 鈴木翼. (in press). 緊急入院をした急性期にある幼児と付き添う家族への看護師のかかわり. 日本小児看護学会誌.

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 実習室 C 展示担当, 2023.8.5～6.

6 講演, 放送

- 1) リトル学園 リトルやまゆり保育園・大宮西口園・花保育園 保育園児・保育士・看護師医療研修会講師「手洗い講習」, 2023.4.～
- 2) リトル学園 リトル花保育園 保育士・看護師医療研修会講師「一次救命処置・AED 処置の仕方」, 2023.8.24.
- 3) 一般社団法人ガールスカウト栃木県第 29 団 ガールスカウト教育プログラム「自分の体を知ろう」講師, 2023.10.22.
- 4) リトル学園 リトル百音保育園・宙保育園 保育園児・保育士・看護師医療研修会講師「手洗い講習・咳エチケット」, 2023.12.～
- 5) リトル学園 花学童クラブ 児童・保育士・職員・看護師医療研修会講師「手洗い・うがい講習」「緊急時の怪我の応急処置及び対策」, 2024.3.28.

7 学会等での活動

- 1) 鈴木翼, 川名るり. (2023,12 月 9 日). 児童精神科領域における看護学実習に関する文献検討. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 山口県.
- 2) 谷口千絵, 川名るり, 鈴木翼. (2023,12 月 9 日). 母子の看護の工場をめざした専門性の拡充を目的とした高度実践看護の役割開発に関する文献検討. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 山口県.
- 3) 川名るり, 谷口千絵, 鈴木翼. (2023,12 月 9 日). 日本における母子の看護工場をめざす小児看護専門看護師の実践に関する文献検討. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 山口県.

8 学内教育活動

- 1) 学部
小児看護学Ⅰ, 小児看護学Ⅱ, 小児看護学実習, 統合実習(小児看護学領域), 卒業研究, 臨床看護応用演習.

9 学内各種委員会活動

- 1) 設備・備品担当委員会, 2022.10.1～
- 2) 学科学生委員会(学部 3 年生クラス担任), 2023.4.1～
- 3) チューター, 2023.4.1～
- 4) 令和 4 年度卒業式・修了式/令和 5 年度入学式実行委員, 2023.11.～

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 谷口千絵研究代表者，川名るり，鈴木翼．助産師と小児専門看護師の実践能力の共有—母子の看護の向上を目指した専門性の拡充．学術研究助成基金助成金 基盤研究（C），2240 千円，2022.4.1～2025.3.31.

瀬谷 絵莉佳

2 学術論文

- 1) 瀬谷絵莉佳. (2023). 助産師教育課程における助産学実習の特徴-助産師以外の資格取得に関わる専門職教育と比較して-. 母性衛生, 64(1), 96-102.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 第1回ヒューマンサービス学会実行員, 2023.7.1～2023.11.5.
- 2) 公益社団法人 日本母性衛生学会 広報渉外担当幹事, 2023.10.1～2024.3.31.

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス当日運営, 2023.8.5.
- 2) 横須賀市. 助産師会研修会当日運営, 2023.10.14.
- 3) 横浜国立大学永田小学校「いのちの学習」講師, 2024.2.5.
- 4) 横須賀市立坂本中学校「いのちの授業」教育媒体貸し出し窓口, 通年.

7 学会等での活動

- 1) 瀬谷絵莉佳. (2023,10月9日). 重症新生児仮死が予測される状況におけるチーム・ダイナミクスに対する認識の比較 ～分娩助産者が助産学生か助産師かの違いから～. 第37回日本助産学会学術集会, 東京.

8 学内教育活動

- 1) 学部
リプロダクティブ・ヘルスケア実習, 助産診断技術学Ⅳ, 助産管理Ⅱ, 助産学実習, 統合実習, 卒業研究.

9 学内各種委員会活動

- 1) 学科実習委員会, 2021.4.1～2024.3.31.
- 2) 設備・備品担当委員会, 2022.4.1～2024.3.31.
- 3) 学科学生委員会, 2023.4.1～2024.3.31.

高橋 恵理菜

2 学術論文

- 1) 高橋恵理菜, 野呂千鶴子. (2023). コロナ禍で在宅勤務へ移行した労働者への産業保健師の支援対応プロセス. 日本健康医学会雑誌, 32(2), 183-192.

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス, 実習室 D・選択課程動画上映担当, 2023.8.5-6.
- 2) 神奈川県保健師の仕事説明会, 2023.8.28.
- 3) うみかぜ祭 「まちの保健室」企画運営, 2023.11.3.
- 4) 神奈川県保健師合同就職説明会, 2024.3.5.
- 5) ミニオープンキャンパス, 2024.3.26.

8 学内教育活動

- 1) 学部
地域看護学Ⅰ, 地域看護学Ⅱ, 地域看護学実習, 公衆衛生看護活動論, 公衆衛生看護演習Ⅰ, 公衆衛生看護演習Ⅱ, 公衆衛生看護管理論Ⅰ, 公衆衛生看護管理論Ⅱ, 公衆衛生看護学実習, 産業保健論Ⅰ, 産業保健論Ⅱ, 在宅看護学実習, 統合実習, 卒業研究、ヒューマンサービス総合演習.

9 学内各種委員会活動

- 1) 設備・備品委員会, 通年.
- 2) オープンキャンパス委員会, 通年.
- 3) 看護学科親睦会幹事, 通年.
- 4) 助教連絡係, 後期
- 5) 令和5年度卒業・修了式／令和6年度入学式実行委員

高山 千春

5 社会貢献

- 1) 一般社団法人がん哲学外来 G-AYA サポーター, 2023.4.1～2024.3.31.

7 学会等での活動

- 1) 第 18 回日本慢性看護学会協力委員, 2023.9.2.～9.3.

8 学内教育活動

- 1) 慢性期看護学実習（ステップⅡ），後期
- 2) 統合実習（慢性期看護学），前期
- 3) 卒業研究（慢性期看護学），通年
- 4) 慢性期看護Ⅰ，後期
- 5) 慢性期看護Ⅱ，前期
- 6) 保健医療福祉論Ⅰ，前期

9 学内各種委員会活動

- 1) 設備・備品担当委員会, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 学科学生委員会（3年生クラス担任）, 2023.4.1～2024.3.31.
- 3) チューター, 2023.4.1～2024.3.31.
- 4) 進路支援担当, 2023.4.1～2024.3.31.
- 5) 入学式当日式典担当, 2023.4.5.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 高山千春. 慢性疾患との共生を支えるナラティブをいかしたセルフマネジメント支援教材の開発と評価. 研究助成 B（奨励研究）, 332.5 千円, 2023.5.23～2024.3.31.

星 美鈴

2 学術論文

- 1) 星美鈴, 杉本健太郎, 佐々木晶世, 叶谷由佳. (2023). サービス付き高齢者向け住宅の介護職が看護職に期待する役割. 日本健康医学会雑誌, 32(2), 206-211.
- 2) 星美鈴, 叶谷由佳. (2023). 看護職による高齢者の生活を支える地域包括ケアのコンピテンシーに関する文献検討. 日本看護管理学会誌, 27(1), 227-236.
- 3) 星美鈴, 黒河内仙奈, 間瀬由記, 池田公平, 福岡梨紗. (2024). 高齢者看護学の学内演習における多職種コンサルテーションの実践報告. 神奈川県立保健福祉大学誌, 21(1), 73-84.
- 4) 黒河内仙奈, 星美鈴, 間瀬由記. (2024). 地域在住高齢者参加型の高齢者看護学演習プログラムの実践報告ー高齢者の参加を促進する環境づくりー. 神奈川県立保健福祉大学誌, 21(1), 63-72.

3 その他の著作

- 1) 叶谷由佳, 丸山幸恵, 南崎眞綾, 金田明子, 佐々木晶世, 星美鈴, 土肥眞奈. (2024). 病院から地域へ! 地域包括ケアを担う看護職のコンピテンシー育成 第1回 地域包括ケア時代の看護職に必要なコンピテンシーとは. Nursing BUSINESS, 18(1), 57-61.
- 2) 叶谷由佳, 丸山幸恵, 南崎眞綾, 金田明子, 佐々木晶世, 星美鈴, 土肥眞奈. (2024). 病院から地域へ! 地域包括ケアを担う看護職のコンピテンシー育成 第2回 地域包括ケアを担う看護職に必要な知識①～高齢者への看護の視点から～. Nursing BUSINESS, 18(2), 54-57.
- 3) 叶谷由佳, 丸山幸恵, 南崎眞綾, 金田明子, 佐々木晶世, 星美鈴, 土肥眞奈. (2024). 病院から地域へ! 地域包括ケアを担う看護職のコンピテンシー育成 第3回 地域包括ケアを担う看護職に必要な知識②～地域包括ケアシステムの視点から～. Nursing BUSINESS, 18(3), 54-57.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本運動器看護学会, 研究支援委員会, 2023.8.23～2024.3.31.
- 2) 日本看護研究学会第49回学術集会, 実行委員.
- 3) 日本看護研究学会第28回東海地方会学術集会, 企画委員.

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 実習室展示担当, 2023.8.5.

7 学会等での活動

- 1) 星美鈴, 黒河内仙奈, 間瀬由記. (2023,8月26日). 学生が多職種チームの一員であることを実感できる看護学演習. 日本看護学教育学会第33回学術集会, 福岡国際会議場.
- 2) 水戸優子, 間瀬由記, 宮芝智子, 長島俊輔, 星美鈴. (2023.8月27日). 看護基礎教育におけるICT教育環境の実態と課題. 日本看護学教育学会第33回学術集会, 福岡国際会議場.

- 3) 星美鈴, 間瀬由記, 宮芝智子, 長島俊輔, 水戸優子. (2023,12月9日). COVID-19 影響下での ICT を活用した遠隔授業内容と評価指標の実態. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 海峡メッセ下関.
- 4) 長島俊輔, 間瀬由記, 宮芝智子, 星美鈴, 水戸優子. (2023,12月9日). 看護基礎教育における ICT 活用の遠隔授業とシステム整備の実態ーその 1: 看護専門学校と大学の比較. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 海峡メッセ下関.
- 5) 間瀬由記, 宮芝智子, 長島俊輔, 星美鈴, 水戸優子. (2023,12月9日). 看護基礎教育における ICT 活用の遠隔授業とシステム整備の実態ーその 2: 整備上の取組み・苦慮・工夫. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 海峡メッセ下関.
- 6) 宮芝智子, 間瀬由記, 長島俊輔, 星美鈴, 水戸優子. (2023,12月9日). 看護基礎教育における ICT 活用の遠隔授業とシステム整備の実態ーその 3: 遠隔授業の導入・継続の課題. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 海峡メッセ下関.

8 学内教育活動

1) 学部

高齢者看護学Ⅰ, 高齢者看護学Ⅱ, 高齢者看護学実習, 統合実習(高齢者看護学領域), 卒業研究, 保健医療福祉論Ⅰ.

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習委員会, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 学科学生委員会(2年生クラス担任), 2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 設備・備品担当委員会, 2023.4.1～2024.3.31.
- 4) チューター, 2023.4.1～2024.3.31.
- 5) 令和5年度入学式実行委員, 2023.4.1～2024.4.4.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 星美鈴(研究代表者), 叶谷由佳, 土肥真奈. 高齢者の生活を支える看護職による地域包括ケアコンピテンシー尺度の開発. 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 3,600 千円, 2023.4.1～2026.3.31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 星美鈴(研究代表者), 小河原格也, 黒河内仙奈, 間瀬由記. 大学における認知症カフェの試行と学生が参加することによる学習効果. 研究助成 B(奨励研究) 助成金, 211 千円, 2023.4.1～2024.3.31.

細谷 陽

2 学術論文

- 1) 細谷陽. (2023). 看護理論における「ケア／ケアリング」への『フェミニズムの政治学』の応用可能性－男性看護師の体験から「ケア／ケアリング」の肯定的脱構築を考える－. 社会論集, 29, 53-72.

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス, 2023.8.6.
- 2) 卒前フォローアップ看護技術トレーニング, 2024.2.26～2024.2.27.

8 学内教育活動

- 1) 学部
心のしくみ, 精神保健看護学Ⅰ, 精神看護学Ⅱ, 精神看護学実習, 統合実習, 卒業研究, 臨床看護応用演習, PBL.

9 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習委員会, 2023.4.1～2024.3.31.
- 2) 看護学科学生委員会, 2023.4.1～2024.3.31.
- 3) 4年次クラス担任, 2023.4.1～2024.3.31.

森 朱輝

5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス委員会としてオープンキャンパスの企画・運営および、当日の看護学科実習室展示の実施。通年。
- 2) 日本看護科学学会 次世代看護学研究者発掘育成プログラムにおける研究者紹介への参加および、インタビューや掲載記事執筆の協力実施。通年。

7 学会等での活動

- 1) 森 朱輝. (2023,9月16日). AR (Augmented Reality : 拡張現実) を用いた標準予防策および手指衛生技術トレーニングプログラムの開発. 第5回看護人間工学会学術集会一般演題, 愛知県。

8 学内教育活動

- 1) 看護技術論Ⅰ 「Ⅱ看護技術に共通する安全・安楽・自立を促す基本技術 手指衛生・個人防護用具の取扱い」および「Ⅱ看護技術に共通する安全・安楽・自立を促す基本技術活動を支援する技術 ストレッチャー移乗・移送」, 「Ⅲ生活援助技術 全身清拭」の単元での授業資料作成と授業・演習の実施。授業運営の補助および実技試験, 筆記試験の試験官業務。後期。
- 2) 看護技術論Ⅱ 「感染予防」の単元での授業資料作成と授業・演習の実施。授業運営の補助および実技試験, 筆記試験の試験官業務。前期。
- 3) 看護技術論Ⅲ 授業運営の補助。後期。
- 4) ヘルスアセスメント論 授業運営の補助および実技試験, 筆記試験の試験官業務。後期。
- 5) 基礎看護学実習Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ 実習の引率および学生への知識, 技術, 看護過程の展開指導。通年。
- 6) 統合実習 統合実習の学生への指導および実習の引率。2023.4.～7。
- 7) 卒業研究 学生への研究計画書および発表資料作成の指導。通年。

9 学内各種委員会活動

- 1) 学科学生会 1年生クラス担任, 通年。
- 2) 設備・備品委員会, 通年。
- 3) オープンキャンパス委員会, 通年。
- 4) 広報員会 SNSによる学科広報担当, 通年。

11 学内研究助成金の受託

- 1) 森 朱輝. AR (Augmented Reality : 拡張現実) を用いた標準予防策および手指衛生技術トレーニングプログラムの開発. 2023年度看護学科共同研究助成, 20千円, 2023.7.3～2024.3.31。